

## 令和7年度第7回茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会会議録

議題	<p>(1) 茅ヶ崎市地域集会施設及び子どもの家の指定管理者候補者の行った管理に係る評価について（非公募施設 10施設）</p> <p>(2) その他</p>
日時	令和7年12月25日（木） 9時30分～15時50分
場所	茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室3
出席者氏名	<p><b>【委員】</b> 中村委員長、山本副委員長、山田委員、小山委員、若林臨時委員</p> <p><b>【事務局】</b> （行政改革推進課）永倉課長、前田主幹、岡崎課長補佐、佐々田主査、川本主査、千葉主査 （市民自治推進課）廣瀬課長、竹井主幹、清水副主査、杉本主事 （青少年課）鈴木課長、山上課長補佐、山田副主査、松崎主任</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度第7回茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会 次第</li> <li>・ 指定管理者申請要項等一式（茅ヶ崎市地域集会施設、子どもの家）</li> <li>・ 申請書類一式（茅ヶ崎市地域集会施設、子どもの家）</li> <li>・ 施設概要等一覧表（12月25日評価分）</li> <li>・ <b>【資料1】</b> 令和7年度第7回茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会タイムスケジュール</li> <li>・ <b>【資料2-7～11】</b> 茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会委員による事前意見について</li> <li>・ <b>【資料3-7～11】</b> 茅ヶ崎市指定管理者選定等委員貴委員による事前意見の回答について</li> <li>・ <b>【参考資料】</b> 指定管理者制度導入施設におけるモニタリング結果報告書（抜粋）直近3か年分</li> </ul>

	(茅ヶ崎市地域集会施設、子どもの家)
会議の公開・非公開	非公開
非公開の理由	行政の内部的な審議、検討又は協議に関する情報であって、公開することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるため

## 会議録

### ○前田主幹

それでは定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日もご多忙のところ、前回に引き続きまして令和7年度第7回茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会にご参加いただきましてありがとうございます。

本日出席しております職員の紹介をさせていただきます。

#### 〈職員紹介〉

では、本日の議題等といたしましては、次第の通りでございます。

1.「茅ヶ崎市地域集会施設、子どもの家の指定管理者候補者の行った管理に係る評価について」、2.「その他」となっております。

次に、資料の確認をさせていただきます。

#### 〈資料確認〉

過不足はございませんでしょうか。

続きまして、本日の委員会の成立についてですが、委員皆様にご出席いただきありがとうございますため、本会議が成立していることをご報告申し上げます。

それでは、会議の進行については、茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会規則に基づき、中村委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしくお願ひします。

### ○中村委員長

それでは引き続き、会議を進めさせていただきます。

今日も長丁場になります。前回に引き続きよろしくお願ひいたします。

まず初めに、本委員会の公開・非公開については、申請書類を確認したところ、行政の内部的

な審議、検討または協議に関する情報であって、公開することにより率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあるため、非公開とさせていただきたいと考えております。よろしいでしょうか。

では、次第に沿いまして始めに議題 1 について事務局から説明をお願いします。

#### ○前田主幹

事務局より、議題 1、茅ヶ崎市地域集会施設、子どもの家の指定管理者候補者の行った管理に係る評価についてご説明させていただきます。

本日、評価を行っていただく地域集会施設及び子どもの家につきましても、前回と同様で、指定管理者を非公募で選定を行うこととしております。

非公募の理由につきましては、先日ご説明させていただいた通り、いずれの施設についても、地域コミュニティの活性化や地元住民の交流、地域の自治振興を目的とした施設となっていることから、本市の指定管理者制度導入に関する基本的な考え方にに基づき、地元住民によって構成される団体が管理運営することにより、利用者の利便性が図られると考えられるため、非公募として対応しているところでございます。

また、選定の単位につきましても、本市の指定 管理者制度導入に関する基本的な考え方にに基づき、複数の施設を一体的に管理運営することにより、効率性の向上が期待できることから、複合施設を一体的に選定しているところでございます。

続きまして、本日の評価の方法等については担当より説明をさせていただきます。

#### ○千葉主査

それでは評価方法について、先日と同様の評価方法となりますが、改めてご説明させていただきます。

これまでの選定経緯といたしましては、庁内において申請要項を確定したのち、令和 7 年 10 月 15 日から 11 月 5 日までを申請書類の受付期間といたしました。

その後、委員の皆様より事前に意見を頂戴し、取りまとめた意見について施設所管課及び申請団体に事前に送付しております。

その回答につきましては、本日机上に置かせていただきました A3 の資料 3-7～11 事前意見の回答について(12 月 25 日評価分)となりますので、意見交換の際にご活用いただければと思います。

この後の流れにつきましても、前回と同様に、施設所管課より施設概要一覧の補足説明をさせていただいた後、申請者ごとに入室、所管課より申請団体が作成した申請書類に基づき、補足説明をさせていただきます。

そのあと、委員の皆様から質疑等の時間を設けさせていただきます。

質疑等の時間が終了しまして、申請者に退出していただいたのち、委員の皆様で意見交換を行っていただき、評価できる点及び要望する事項、期待すること、改善を要する点をそれぞれ3点以内でおまとめをお願いいたします。

なお、評価につきましては前回と同様、地域集会施設、子どもの家それぞれに行っていただければと思います。

事前の意見につきましては、資料 2-7~11 事前意見について(12月25日評価分)にまとめております。

その他のご意見につきましては、まとめやすいよう内容により評価できる点や要望する事項等に集約させていただいておりますのでご留意ください。

また、事前意見以外のご意見がございましたら、申請者退出後の評価委員意見交換のお時間に机上に配付させていただきました、資料 2-7~11 の当日記述欄をご活用いただければと思います。事務局でスクリーンに投影の際に反映させていただきます。

取りまとめ後のご意見は申請団体へフィードバックし、事業計画への反映の要否について検討させていただきます。

なお、取りまとめたご意見は議会資料に掲載される可能性があることを最後に申し添えいたします。

事務局から説明は以上です。本日はよろしくをお願いいたします。

### ○中村委員長

では、施設の評価に入ります前に、まず地域集会施設の所管課である市民自治推進管理施設の概要についてご説明をお願いいたします。

### ○廣瀬市民自治推進課長

市民自治推進課の廣瀬より、地域集会施設についてご説明いたします。

地域集会施設の設置目的や全体の現状課題につきましては、先日ご説明させていただきましたので本日は割愛をさせていただきます。

本日は、小和田地区コミュニティセンター、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎地区コミュニティセンター、鶴嶺東コミュニティセンター、松浪コミュニティセンターの5つについてご審議をお願いいたします。

本日ご審議いただく施設の申請団体につきましては、茅ヶ崎市地域集会施設条例第5条の要件に該当していることを、事業計画書にて確認しております。

それでは、次期指定管理期間で期待することを施設ごとにご説明をいたします。

まず小和田地区コミュニティセンターですが、昭和63年に開館し、子どもの家銀河、図書コーナーを併設する施設となっております。

申請者につきましては、小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会となっております。

同地区内に辻堂西口 YU-ZU ルーム等の周辺施設と連携した事業を展開するなど、新しい住民が増加傾向にある地域特性を踏まえながら、幅広い世代の交流が促進されることを期待しております。

続きまして、コミュニティセンター湘南につきましては平成 10 年に開館し、子どもの家わくわくらんどを併設しております。

申請者は、湘南地区まちぢから協議会となっております。

湘南夢わくわく公園や小中学校などの周辺施設と連携した事業を展開するとともに、様々な媒体を活用した積極的な広報活動を行いながら、さらなる利用率の向上、幅広い世代の交流が促進されることを期待しております。

続きまして、茅ヶ崎地区コミュニティセンター、こちらは平成 14 年に開館し、子どもの家茅っ子、元町ケアセンターを併設する施設となっております。

申請者は、茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会となっております。

茅ヶ崎駅から近い立地であることや、フリースペースを有しているといった施設特性を積極的に PR するなど、低迷気味にある調理室や夜間利用率の向上を期待しております。

続いて、鶴嶺東コミュニティセンター、こちらは平成 16 年に開館し、子どもの家さんぼみち、浜之郷児童クラブを併設する施設となっております。

申請者は、鶴嶺東コミュニティセンター管理運営委員会となっております。

小学校や支援学校、保育園などの周辺施設と連携を深めながら、各事業に取り組んでいただくなど、夜間を始めとした利用率の向上が図られることを期待しております。

なお、本施設につきましては、申請者が以前は鶴嶺東地区まちぢから協議会となっていたことが、今回から鶴嶺東コミュニティセンター管理運営委員会に変更されております。

これまで協議会内において管理運営委員会が中心的に管理運営を行ってきた実績を踏まえ、申請者となっているという状況です。

続いて、松浪コミュニティセンターですが、平成 27 年に開館し、子どもの家なみっこ、地域包括支援センター、ボランティアセンターを併設し、配本所の機能も有しております。

申請者は、松波地区まちぢから協議会となっております。

11 館のうち唯一のコミュニティカフェや、その他広いフリースペースを有しております。この施設特性を生かし、幅広い世代の利用を促進し、新たな担い手の発掘に期待しております。

説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

## ○中村委員長

続いて、子どもの家の所管課である青少年課より施設の概要についてご説明をお願いいたします。

## ○鈴木青少年課長

それでは、青少年課より子どもの家についてご説明いたします。

今回の審議対象は、子どもの家銀河、わくわくらんど、茅っ子、さんぽみち、なみっこの5つでございます。

子どもの家の設置目的等につきましては、先日ご説明させていただきましたので、省略をさせていただきます。

また、本日ご審議いただく5つの子どもの家の申請団体につきましては、子どもの家条例第5条における要件を満たしていることを確認していることをご報告いたします。

それでは、別紙2、施設概要と一覧表をもとに現状と課題や期待することなどについてご説明させていただきます。

別紙2の裏面をご覧ください。初めに子どもの家銀河です。

昭和63年に小和田地区コミュニティセンターに併設し開館されました、市内初の子どもの家となります。

候補者は小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会でございます。

子どもの家銀河は辻堂駅周辺を含めた地域であることを生かすために、多様化する利用者ニーズを的確に把握し、運営に反映する仕組みづくりや社会の変化に伴い、あらゆるニーズに対応していくことが必要であると考えております。

次期指定管理期間におきましては、子どもの家に特化したアンケートを実施し、乳幼児から小学生、保護者の意見を取り入れ、自主事業企画の充実や安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいただくことに期待しているところでございます。

次に子どもの家わくわくらんどです。平成10年にコミュニティセンター湘南に併設し開館された子どもの家となります。

候補者は湘南地区まちぢから協議会でございます。

子どもの家わくわくらんどはコロナ禍前の平成30年度と比較し、利用者が4割程度減となっているため、子どもの家ならではの取り組みを実施し、積極的に周知していくことで、利用者の増加につなげていく必要があると考えております。

次期指定管理期間におきましては、子どもの家でワークショップを実施するなど、子どもの家を知ってもらう機会を創出するとともに、ホームページなどで、より積極的にPRしていく運営を行っていくことに期待しているところでございます。

続きまして、子どもの家茅っ子です。平成14年に茅ヶ崎地区コミュニティセンターに併設し開館された子どもの家となります。

候補者は茅ヶ崎市コミュニティセンター管理運営委員会でございます。

子どもの家茅っ子は、中心市街地に立地する強みをさらに生かすために、地域への利用者も含

めたニーズや多様化する利用者ニーズを的確に把握し、運営に反映していく仕組みづくりが必要であると考えております。

次期指定管理期間におきましては、利用者アンケート等を実施し、利用者の声を収集分析した上で、多様な意見を反映した運営を行っていただくことに期待しているところでございます。

続きまして、子どもの家さんぽみちです。平成 16 年に鶴嶺東コミュニティセンターに併設し開設された子どもの家となります。

候補者は、コミュニティセンターと同様に前回と変わりまして、鶴嶺東コミュニティセンター管理運営委員会でございます。

子どもの家さんぽみちは小学校と隣接する立地をさらに生かすために、多様化する利用者ニーズを的確に把握し、運営に反映していく仕組みづくりや職員の柔軟な対応が必要であると考えております。

次期指定管理期間におきましては、職員の対応マニュアルを整備し、多様なニーズに備えるとともに、実施しているアンケート、年代や性別等で分析することで、施設利用者の満足度の向上につなげる取り組みに期待しているところでございます。

最後に、子どもの家なみっこです。平成 27 年に松浪コミュニティセンターに併設し、開設された市内で最も新しい子どもの家となります。

候補者は松浪地区まちぢから協議会でございます。

子どもの家なみっこは、利用者にとって魅力的な空間づくりやホームページや地域会など取り組みを行っているところですが、コロナ禍前の平成 30 年度と比較し、利用者が 4 割程度減となっているため、子どもの家ならではの取り組みを実施し、利用者の増加につなげていく必要があると考えております。

次期指定管理期間におきましては、事務員の創意工夫が継承される体制づくりと広報手法の見直しによる利用促進に取り組んでいただくことに期待しているところでございます。

説明は以上となります。よろしく願いいたします。

## ○中村委員長

それでは今の説明で何かご質問等ありますか。

僕の方から 1 点だけ。

鶴嶺東コミュニティセンターとさんぽみちの指定管理の主体が変更になったということで、この辺は事前に地元と協議をして継承するということを確認して、継続性や新しいところが、ある程度手伝う等の経緯があつて、大丈夫という、そういう結論の上で変更という解釈でいいですか。

## ○廣瀬市民自治推進課長

地域の中でしっかりと協議していただいて、今までの体制を継続できるようなことは確認しており

ます。

### ○中村委員長

逆に言うと、今までやった人が新しいところにも少しかぶって継続してやるみたいなの、そんなこともありますか。了解です。

それではただいまより、指定管理者の候補者に対する評価に移ります。

## (小和田地区コミュニティセンター、子どもの家銀河)

### 【申請者入室】

### ○前田主幹

ただいまより、小和田地区コミュニティセンター及び子どもの家銀河の指定管理者の候補者に対するヒアリングを行います。

所管課からの申請書類の説明及び委員の皆様からの質疑応答を含めまして、25分程度とさせていただきます。

それでは所管課の市民自治推進課、説明をお願いします。

### ○竹井主幹

市民自治推進課より説明させていただきます。

説明に入る前に、申請者の皆様お越しいただいておりますので、まずはご紹介の方をさせていただきます。

小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会、零石会長でございます。お隣が下山副会長でございます。のお隣が山田副会長でございます。以上3名の方にお越しいただいております。

それでは、申請書の説明に入りたいと思います。

まず、申請書5ページ、管理運営に係る基本的な考え方についてですが、本施設につきましては、近年、辻堂駅前の再開発や大型マンション建設により、若年層の新たな住民が増加傾向にある、そういった地域特性を踏まえながら、管理運営に努める旨が記載しております。

続きまして9ページ、収支計画です。経費削減の取り組みとして、小規模な修繕であれば事務局員で対応する旨、点検業者等の選定にあたっては複数社からの見積書を取得する旨、記載されております。

続きまして、申請書10ページから13ページについては、施設の管理運営に関する記載がされており、各種マニュアルをベースにしながらか適切に運営されていく旨が記載されております。

続きまして、申請書の14ページ、提案を求める事項についてです。

こちらは我々の方から2点ほど、提案を求めています。1つ目が、あらゆる世代の地域住民が

集い、自主的活動が推進される取り組みについて提案を求めており、申請者からは、コミセンまつりを始めとした既存事業を継続して実施し、地域住民に楽しんで参加していただけるよう努める旨、また、子どもを中心とした事業を展開し、親世代の利用を促進する旨を記載していただいております。

また、2つ目の、低迷している夜間や調理室の利用率の向上につきましては、これまでの夜間の利用実績を踏まえ、夜間の利用に必要な貸出物品を用意するなど、環境を整備し、夜間の利用率向上に努める旨が記載されております。

また、調理室においては、調理に限らない手芸や絵手紙サークル等への利用用途を拡大し、利用率向上を図る旨、それからフリースペース小和田という子どもの居場所づくりといった地域事業の活動の場所として提案するなど、周辺施設等の利用状況等も確認しながら、利用促進に向けた対策を検討する旨が記載されております。

最後に、申請書の26ページ、過去3年間の収支実績等に基づく自己評価といたしましては、利用者懇談会で聴取された意見を可能な限り管理運営に反映した旨、また各種事業を展開し、幅広い世代の地域住民に楽しんでいただくことができたこと、また事業実施にあたっては、地域住民による講座や地域から材料を提供していただき、また、清掃業務はできる限り事務局員で対応するなど、経費を削減することができた旨が記載されているところでございます。

簡単ではありますが、説明は以上とさせていただきます。よろしく願いいたします。

### ○山上課長補佐

続きまして、青少年課より子どもの家銀河の事業計画書等についてご説明させていただきます。

昭和63年に市内で最初の子どもの家としてオープンした子どもの家銀河は小和田小学校と松林小学校の中間に位置し、市内に6館ある子どもの家の中で利用者が最も多い施設となっております。

また、小和田地区は辻堂駅にも近く、駅前の再開発や大型マンションの建設などにより、近年若年層や若い世代が増えています。

こうした地域特性を生かし、利用者のニーズをとらえながら、子育て世代や子どもたちが安全安心に集うことができる居場所づくりに努めて参ります。

申請書のうち15ページ、施設の管理運営に係る基本的な考え方、16、7ページ、組織職員配置及び職員の育成、19、20ページ、施設の管理について、21ページ、施設の運営について、22ページ、危機管理についてはコミュニティセンターと一体管理としております。同じ考えで取り組んでおりますので、省略させていただきます。

18ページご覧ください。収支計画でございます。

各年度、市からの指定管理料を収入とし、開館日数等を考慮しながら計上しております。事務員人件費、消耗品購入費等に要する経費、保守管理等に要する経費などを支出いたしております。

収入については、すべて適切に支出することとしており、余剰金が発生した際には市へ返還いたします。経費削減の取り組みとして、設備や備品の定期的な点検を行い、小規模修繕は可能な限り管理運営委員会で実施、外部委託の選定では数社からの見積もりで安価で信頼における業者に委託するなどを示しております。

23 ページ、提案を求める事項について、乳幼児から小学生までの利用者ニーズに応じた事業展開について、コミュニティセンターまつりを中心に子ども向けゲームの実施や、7 月にはおもちゃづくり、年 5 回の絵本の読み聞かせを実施することを加えて、子どもの家に特化したアンケートを実施し、利用者のニーズに対応し、快適で安全安心に過ごせる居場所づくりに取り組むこと。また子どもの家に装飾している季節に応じた切り絵の展示には、利用者に楽しんでいただけるため継続して取り組んでいることをいただくことをご提案いただいております。

24 ページ、団体の概要書では、小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会の主な実績や業務内容が示されております。

27 ページ、公の施設の指定管理業務の実績報告では、過去 3 年の収支実績等を記載されております。

その他、関連する資料を添付させていただいておりますのでご確認ください。

最後に、事前意見として、子どもの家に特化したアンケートを実施し、ニーズに対応する取り組みを行うとしているが、具体的にいつごろアンケートを実施するのかなど、具体的なスケジュール等を明示していただきたいのご意見をいただいております。

子どもの家に特化したアンケートについては、年に 1 回、6 月ごろにアンケート用紙配布。親子、小学生を対象としているアンケートの実施を想定しております。

利用者ニーズを把握することで、子どもの家の環境を整備し、魅力を高められるよう努めていく旨を回答としてご提出いただいております。説明は以上でございます。

## ○中村委員長

それではこれから委員からのヒアリングを概ね 15 分程度考えていますので、よろしく願いいたします。委員の方で何かある方どうぞ。

## ○山田委員

1 つ質問をさせていただきます。

特にコミュニティセンターの管理運営においては、よく伺うのがこの地域は人々のネットワークを生かした運営と、それからコミュニティセンターそのものがその地域の拠点として機能するように工夫をなさっているということは聞いています。

その時に比較的その親世代の人間関係は熱心に形成されていて、いろんな活動を雫石さんも中心に報告をしてくださっているのです、よく聞いているところですがけれども、これをコミュニティセン

ターの中で、人と人と繋ぐために、こんな工夫をしてみようとか、それからこんな苦勞があるので、こんな相談をしてみたいといったところがあれば、経験の点でも、これまでの実績の点でもお聞かせいただければと思いますがいかがでしょうか。

コミュニティセンターを土台にした人間関係づくりということについて、何か工夫やまたは苦勞なさっている点があればお聞かせください。

#### ○小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会

私はコミュニティセンター会長になりまして、もうすぐ2年が経過し、まちぢから協議会の会長も兼務しています。工夫した点は、小和田地区にはコミュニティセンターと複合施設とYU-ZUルームという3つの施設があるのですが、例えばこれまで、チラシを配布する場合は、自治会の掲示板にしていたけども、今はやり方を変えて、どういう施設の催しでも、3つのすべての施設に配架する。

例えば、コミュニティセンターは、新宿自治会のところにはありますが、YU-ZUルームであれば、辻堂駅から近いので、PRができ、この前やった包丁研ぎ研修会も、人数が増えました。

要はこれまで情報がなかったため、各館にチラシを配架することによって、それを見て参加する。小和田コミュニティセンターは松林地区に近く、利用者のバランスが偏っていましたが、各施設に配架することで、赤松町や菱沼小和田からの利用が増えました。今後もこのような取り組みを続けていきたいと思っています。

#### ○山田委員

そしてもう1つが、子どもの家銀河の方の質問ですけれども、こちら子どもが大人に見守られるという仕組みはとても素晴らしい提案だと思います。

その上で、大人の側の成長ですね。つまり、見守る側の影響力とかその力の育成について、どのようになりたいかという今後の展望がもしあればお聞かせください。

#### ○小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会

子どもの家の方は、小学生以上は単独で来て楽しんでいただき、乳幼児の方はお母さんが必ずついてくるということで、お母さん方のコミュニティの場を形成されているというような状況です。

ですから、その中でいろいろ、先ほども青少年課さんの方からも案内いただきましたけども、毎年1年に1回、6月にアンケートをとって、親の目線による子どもの遊び場としての意見、そのお母さん方が一緒にサークルじゃないですけど、一緒にコミュニケーションをとりながら、子どもを見守っている中で、コミュニティセンターに対するどのような意見があるのかということ聞きながら、さらに遊びたいと来ていただける環境を作っていきたいと思っています。

## ○山田委員

どうもありがとうございました。以上です。

## ○小山委員

1点質問させてください。

事前の意見に対する回答で、毎年5月の中旬に管理運営委員会の定期総会で、年度の計画を確認するということですが、先ほどのアンケートは、その翌月6月に実施するということになるかと思うのですが、それもこの承認が終えられたらということ前提ですが、今回も6月に実施するという、毎年1回の実施ということは行われるという心づもりはあるのでしょうか。

## ○小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会

5月の中旬に定期総会が終わりまして、年間の日程を承認いただくわけですが、その中に利用者懇談会という項目がございます、それが6月に実施されます。

6月に実施されるのは、大人の利用者懇談会で、集まっていたきまして、いろんな意見を聞いて、改善できるものは改善しているという状況です。同じタイミングで、子どもの家の方は集まっていたのは大変ですから、アンケート形式でお母さんとお子さんの方から意見を聞いて、一緒にその同じ時期から改善等できるものはスタートしたいということで6月にしています。

## ○山本副委員長

小和田地区コミュニティセンター内には、子どもの家があつて、コミュニティセンターにも1階に大きな和室ありますので、子どもの家に来た、その利用者も含めたお母さん方、子どもの集まりがそのままコミュニティセンターの和室を使ってサークル活動していただく形で、どちらもいいように繋がっていく。特に小さいおさんは、連れていけると和室はハイハイもできるし、寝ることもできるし、かなり使い勝手はいいと思うので、うまくその子どもの家と和室を両方とも使えるような、そんな形での利用の促進も、サークルの立ち上げを指導するのは難しいとは思っているので、そんな形で、声掛けをしていくのも、これからの利用者を増やすにはいいと思うので、そんなこともちょっと考えてもらえるといいかなと感じました。

## ○小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会

今ご意見いただきましたので、やはり和室の方で、幼児がコロコロできるのも非常にいいことだと思いますので、できる限りそういう取り組みをしていきたいと思ひます。

今、地区社協の方でそういう幼児関係の催しを和室でやっています、それプラス、個人、団体も幼児を対象に5月にやっています。

2団体が今、活動しています、そこでPRしていますので、幼児は銀河でもうやっていますけれ

ども、PRがおそらく行き届いていると思いますので、和室の方にも、参加している方もいる。全員ではないですけど、そういう活動をしています。

さらに今、ご指導いただいた件に関しては検討していきたいと思っています。

### ○若林臨時委員

小和田地区コミュニティセンターですが、もうご存じの通り来年の秋には松林地区に新しいコミュニティセンターができるところでございます。

利用者については、一定の影響を受ける可能性もあるかと思っていますが、今委員がご指摘した通り、子どもの家については新たなコミュニティセンターにはないようですので、ぜひ小和田コミュニティセンターの子ども家の魅力や価値を高めていただくような取り組みをしていただければいいのかなと思います。

あともう1点、やはり昭和63年開館ということで、かなり老朽化が激しくて、予算面でも十分ではないようなところも垣間見えまして、決算ベースで見ますと、どうも予算をオーバーしているような様子も見えますので、事前に人で調整をしていただきながら進めていただければなと思いますので、よろしくお願いいたします。

### ○中村委員長

開館から40年かなり老朽化が激しいということで、多分大変だと思います。もう普通に当たり前のように修繕が発生しているだろうなと。かつ大規模じゃないので、要するに市にお願いするまでもないという話になっていると思います。それってご負担になっていますよね。

すごく工夫されて、できる範囲自分たちでやるという方針で、大変だと思いますが、もう少し継続していただくという形になるかと思っています。

ただ、やっぱりこれからそういう修繕は、多分これから物価が上がると想定されるので、そこは意識されないと、5年の期間中で考えなきゃいけないということで、要するに、ちょっと心配しているのは、あまりに経費削減をやってしまって、サービス低下はまずいなと思っています。

限界があったら、打開策は、遠慮なく市と協議して、ここはどうしても無理ですという話になったときは、早めに相談する体質もいいのかなと。

逆に言ったら、お互い一緒に管理運営する。市は指定管理でお願いする立場ですけども、基本的には共同で運営している状態です。主体は公共施設なので、責任は市にありますから。

そこは工夫しながら、かつ努力はするけれども、やっぱり限界というのはちゃんと認識していただければなと思います。これは質問ではないです。

それから、ちょっと面白いのがやはり辻堂駅の周辺のところも管轄に入ることだと思います。ちょっと複雑ですよね。

茅ヶ崎の駅周辺とはまた違った人の雰囲気とか流れがありますから、もうすでにその辺の周知も

連携したりとか施設の連携も図っているということがありますので、他のコミュニティセンターは違う条件があるから、引き続き利用者拡大のためには、そういう周知ですよ、考えられるとこにチラシを置くとか、そういうのはすごく大事だと思います。

これもすごく努力されているので、継続してお願いできればと思います。

その中でアンケートがニーズを吸い上げる1つの手法ですけども、アンケートだけやってそれを拾う手法だけではなくて、例えば普段の運営の中で、利用者との会話はありますね。

今日はこんなものができたとか、こういうものやりたいみたいな、そういうものもあると思います。

そういう意見も職員間で、メールでいいので、情報共有して、こんな話があったということであれば、例えば正式な協議会とか懇談会の意思決定を待つまでもなく、そういう正式な場じゃなくてもできる範囲は臨機応変に随時やっていくというのにも必要なと思います。

特に、例えば夜間の利用とか調理室利用、市の要求が結構大変だと思いますが、頑張ってくれと言われても、なかなか夜間利用と調理室は、すごく根が深い問題で、そう簡単に解決できないので、逆に言うとそういう工夫みたいな、何気ない会話の中からのヒントで、場合によっては調理室を使わなくても、部屋が空いているので、部屋として使えますけどみたいな。そういうものだってあるのではないかなと思ったところです。

いろいろ全体で見たら、イベントもすごく工夫されていたり、経費削減も努力されているので、大変ですけども、引き続き地域のコミュニティセンター、それからやはり子どもの家は地域の子どものものということですので、その辺の核になっていただける施設という1つの役割があると思います。

継続して頑張っていたらいいという、これもお願いでございます。

もしコメントがあればですけど、どうですか。

#### ○小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会

私、辻堂駅西口のYU-ZUルームでも副代表理事やっています、複合施設の評議員ということで、3つの全ての施設に絡んでいます。お互いの悪いところはなくして良いところは学んで、全部に持ち込むというような新しい目で今見ているので、そういう形で取り組んでいきたいと思っています。

余談ですが、辻堂西口YU-ZUルームでは、今年7、8回催しを行ってまして、あっちでいいなと思ったのは、コミュニティセンターにも取り入れようということで、来月コミュニティセンターでは子どもたちを集めて、太鼓を教える会を2月にやりますけれども、1月にYU-ZUルームの方で祭囃子フェスティバルに出演していただく団体に来てもらって、今度教えてもらおうとか、そんな交流をこれからもどんどんやっていきたいと思っています。

#### ○中村委員長

ぜひお願いします。場合によっては部屋の融通とか。こっちは埋まっているけど、あっちを調べたら空いているよとか、それから今度はYU-ZUルームでいっぱいだけれど、実はこっちは空いているのでどうか、みたいな、そういうことでも可能性があると思っています。

他に質問ありませんので、以上で小和田地区コミュニティセンター及び子どもの家銀河の指定管理者の候補者に対するヒアリングを終了いたします。

ありがとうございました。

本日の委員会の意見等につきましては、書面にて後日通知させていただきますので、よろしくお願いします。

この後は委員間で意見の取りまとめを行いますので、申請団体の皆様におかれましてはもうこれで結構でございます。ありがとうございました。

### 【申請者退室】

#### ○中村委員長

では、今から委員間での意見交換を行いたいと思います。

当日記述で何かコメントがありましたら、追加いたしますが、いかがでしょうか。

### 【委員意見交換】

#### ○中村委員長

それでは、「評価できる点」、「要望する事項・期待すること・改善を要する点」ということで委員会の意見をまとめたいと思います。

小和田コミュニティセンターの評価できる点につきましては、1点目「就業規則等を含めて規程類が十分に整備されている。」、2点目「申請要項と管理運営の基準に記載された条件について網羅された提案となっており、指定管理者として実施する能力があると判断される。」、3点目「小和田地区のネットワークを活かした運営により、地域の拠点としての「コミュニティセンター」の実現が期待される。」。

要望する事項・期待すること・改善を要する点につきましては、1点目「近隣住民及び辻堂西口YU-ZUルーム等との連携によるさらなる事業展開に期待したい。」、2点目「地域住民の自主的活動をサポートするにあたっては、コミュニティセンター内での人間関係づくりが鍵となるため、人と人とを繋ぐ活動を積極的に取り入れていただきたい。」

子どもの家銀河の評価できる点については、1点目「就業規則等を含めて規程類が十分に整備されている。」、2点目「提案を求める事項について、乳幼児から小学生までのあらゆる世代の利用の取り組みの記述があり、効果が期待できる。」、3点目「子どもを地域の大人が見守る仕組み

づくりを含め、施設運営の安定感がある。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点については、1 点目「子どもの家に特化したアンケートを継続して実施していただきたい。」、2 点目「子どもと共に学ぶ喜びや楽しさを感じ続けられるようサポートする大人側の成長を支える取り組みを行っていただきたい。」

施設全体に対する意見は、「事務局員等で小規模修繕を実施するなど、業務委託費等の経費縮減に努めており、評価できる。」「物価高騰への対応については、市と綿密な連携をとって進めていただきたい。」

以上、このようにまとめたいと思います。

#### ○前田主幹

ありがとうございました。

それではここで休憩と入れ替えで 5 分程度とさせていただきます。

再開は 45 分からとさせていただきます。

(コミュニティセンター湘南、子どもの家わくわくらんど)

#### 【申請者入室】

#### ○前田主幹

それでは、ただいまよりコミュニティセンター湘南及び子どもの家わくわくらんどの指定管理者の候補者に対するヒアリングを行います。

所管課からの申請書類の説明及び委員の皆様からの質疑応答含めまして、25 分程度とさせていただきます。それではご説明をお願いします。

#### ○竹井主幹

市民自治推進課より説明をさせていただきます。

説明に入ります前にお越しいただいております、申請者の皆様のご紹介をさせていただきます。

まず、湘南地区まちぢから協議会高山会長でございます。同じく、コミュニティセンター部会市場事務責任者でございます。以上、お 2 人の方にお越しいただいております。

それでは、申請書類の説明に移りたいと思います。

まず、申請書 3 ページ、施設の管理運営に係る基本的な考え方について、本地区につきましては近年、大型商業施設や道の駅の開設などにより、地域環境が変化しております。そういったことから、子どもから大人まで多様な世代の地域住民が居住しているといった地域特性を踏まえながら、当該施設が地域活動の拠点の場としての役割をより果たせるよう努める旨が記載されております。

続きまして、申請書の 7 ページ、収支計画についてですが、経費縮減の取り組みといたしまし

て、植栽の剪定や小規模な修繕業務等については事務局員が対応している。また、光熱水費については、こまめな消灯を行うなど、経費の縮減に努める旨が記載されております。

また、各種事業において、来場者数を見込み、適正な人員配置を行うなど、経費節減に努める旨記載されております。その他、ペーパーレス化についても記載がございます。

続きまして、申請書 8 ページから 12 ページについては施設の管理運営に関し、各種マニュアルをもとに対応する旨が記載されております。

続きまして、申請書の 13 ページ、提案を求める事項についてですが、あらゆる世代の自主的活動が推進される取り組み、それから夜間の利用率の向上に向けた取り組みについて提案するよう、本市から求めております。

それに対して、まずあらゆる世代の地域住民が集い、自主的活動が推進される取り組みとして、子どもたちが集い、湘南夢わくわく公園や柳島スポーツ公園と連携し、地元で音楽を愛好している方々によるアコースティックライブを共催事業として開催し、地域交流の促進に努める旨、また当該協議会の事業であります、「おでかけワゴン」と連携し、当該施設の企画事業と絡めた運行をするなど、参加しやすい仕組みづくりを検討している旨が提案されております。

また、夜間の利用率の向上に向けた取り組みについては、近くにありますが中学校と連携し、夜間でも自習できるよう利用促進を行う旨、また、ジャズダンス等の運動系の活動ができるよう、姿見の設置など環境を整備する、夜間でも気軽に卓球を楽しめるよう、卓球開放Dayを企画する等の提案がされているところでございます。

最後申請書の 26 ページ。過去 3 年間の実績報告に基づく自己評価についてです。

まず 1 つ、和室に机、椅子を設置するなど環境整備に努め、利用者数の増加に繋がった。次に、建物、設備等の点検について、年間計画表を作成し、不具合箇所の早期発見に努めた。それから、ペーパーレス化により経費主縮減に努めた旨、また環境面に配慮した運営を心がけ茅ヶ崎市エコ管理賞を 5 年連続で受賞した旨を自己評価として記載していただいております。

簡単ではございますが、私からの説明は以上となります。

### ○山上課長補佐

続きまして、青少年課から子どもの家わくわくわくわくらんどの説明をさせていただきます。

平成 10 年に市内で 3 番目の子どもの家としてオープンしたわくわくらんどは、小出川が流れる市の南西に位置し、柳島小学校と中島中学校の学区内にございます。

また、近くにはハマミーナまなびプラザや柳島スポーツ公園などの公共施設がございます。

申請書類のうち 14 ページ 15 ページの施設の管理運営に係る基本的な考え方、16、17 ページ、組織職員配置の及び職員の育成、19 ページ、施設の管理について、20、21 ページ、施設の運営について 22 ページ、危機管理につきましてはコミュニティセンターと一体管理しております。同じ考えで取り組んでおりますので、省略させていただきます。

18 ページをご覧ください。収支計画でございます。経費縮減の取り組みとして、小規模修繕については可能な範囲で指定管理者が実施し、支出の抑制に努めること、積極的な省エネ策に努めること、会議資料等ペーパーレス化を行い、タブレットで資料を閲覧することなどが示されております。

続きまして 23 ページをご覧ください。提案を求める事項でございます。

子どもの家に来館してもらうきっかけの創出や効果的な情報発信を実現するため、季節に応じた壁面装飾を継続して実施し、子ども向けアンケートを実施し、ニーズの把握に努めること、また事務員が講師となる工作教室の開催、そしてコミュニティセンターだよりやホームページ、自治会回覧で広報活動にも積極的に取り組んでいくことを提案いただいております。

24 ページをご覧ください。団体の概要書でございます。

こちらでは、湘南地区まちぢから協議会の主な実績や業務内容が示されております。

27 ページ、公の施設の指定管理業務の実績報告では、過去 3 ヶ年度の収支実績等が記載されております。その他、関連する資料が添付されておりますのでご確認ください。

最後に、事前意見として提案事項の着実な履行等提案以外でも効果が期待できる対策の実施を期待するとご意見をいただいております。

提案を求める事項等をもとに、定期的にアンケートを実施、利用者ニーズを把握しながら、利用者向上に努めていく旨を回答としてご提出いただいております。

説明は以上でございます。

## ○中村委員長

ありがとうございました。

ではこれからの委員の方からヒアリングに移りたいと思います。概ねヒアリングの時間は 15 分程度を考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、ご質問のある委員の方からどうぞ。

## ○山田委員

では、まず私から質問をさせていただきます。

企画書を拝見しますと、冒頭にまずコミュニティセンターですから、そのコミュニティという言葉の定義から説明があり、こういう地域づくりを目指していますという理念が書かれているところが大変魅力的だと思いました。

その点で 7 番の提案を求める事項についてですが、こちらはどちらかといえばその活動メニューの豊富化を、書いてくださってしまして、様々な事業展開をしたいと読めるところ、これは質問に答えているところだと思います。

それと、同時に冒頭のコミュニティというキーワードにくっつけますと、こうやって集まってくださる

団体や個人間の交流の活性化をコミュニティセンターの中でどのように期待されたり、或いはそういうコミュニティセンターの中での交流に向けて、どのような工夫をしていきたいかということについて、展望でも結構ですし、これまでの実績でも結構ですので、考えているところお聞かせいただけますでしょうか。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

ただいまの質問に対してご回答させていただきます。

現在当館を利用している団体として登録団体で約 300 弱の団体があります。

こういった団体に年 1 回利用者からのアンケートをとりながら、利用者がどういうふうにこの施設を利用しているか、どういうふうに思われているかということをヒアリングして集計しております。

そういった中で、いろんな形で利用団体とは会話したりしながらやっておりますし、その利用団体の中でも、会員をちょっと募集したいとか、そういう要望がある場合は、コミュニティセンター便りで各団体の PR をさせていただいております、すでにそういった PR によって会員が何人か増えたところがあります。

例えばダンス団体とか、男女同じ人数でないといけないので、男性が多くて女性が少ないというような意見がありまして、誰か女性でそういうダンスやる人いないかなということで、いろんな形で情報を集めて女性を会員に登録していただいたとか、そういう実例があります。

以上でございます。

#### ○山田委員

ありがとうございます。

ちなみにその場合のダンスは社交ダンスですか。わかりました。

続いて子どもの家のわくわくらんどの方です。

こちらも親子が気軽に利用できる雰囲気づくりに取り組まれているところは大変すばらしいと思っております、地域で良い場所が作られていると感じました。

そうしますと、周り親子関係の参加者は横の繋がりをイメージする際に、特に口コミですか利用感みたいなものを大変気にすると思いますので、このような口コミの広め方へのアピールとか、配慮みたいなもので今取り組まれている、工夫されているところはありますでしょうか。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

湘南地区では、結構県外からの子育て世代の転入が多くなってきておりまして、併設している子どもの家にも、初めての家族は遊びに来られております。

それで、昨年青少年課ともいろいろ話して、やはり施設をもっと PR しないといけないねということでお願いしまして、市役所に転入届を出したときに、子どもの家の PR をしたチラシ等を配ってもら

うようなことも実施しております。

その関係もありまして、結構子育て世代の方が遊びにきているのが最近すごく多くなってきております。

特に父親が最近産前産後休暇をもらって、男性が子どもを連れて遊びに来ている家族が多くなってきておりまして、非常に魅力を感じております。

また、当館を使用された家族が友達にそういったことをPRして、あそこの子どもの家にいろんな遊び道具があり、非常にいいですよということで、交流を図っているとかそういうケースが最近は出ております。

昔に比べて、地域の方々がお隣同士の会話だとかそういったのがどんどん少なくて、幼稚園でも先生と親御さんとの会話があっても、核家族化の影響がそういう人たちの頭の中にきちっとあるものですから、他人と上手に接していくとか、そういう人たちで仲間を作っていくのは昔に比べて随分減っているのではないかというのをすごく感じます。

そういった中で、そういう方々がどうやってコミュニティセンターを中心に集まってくれるようになっていくかというのは、どうやってコミュニティセンターがそういう人たちの楽しい場だということを伝えるかということが、おそらく大事だろうなど。

昔で言えば、学校だとか幼稚園だとかで友達同士で話して親御さんが連れていってみたい感じが、やっぱり少ない時代なのかなというのは感じますよね。

そこはいかにPRする、その個人のところにPRするかというのを作っていかないと、全体の中で情報共有して人々が会話の中で、コミュニティセンターにぜひ今度行ってみたいらどうかみたいな会話にはなかなか繋がっていかないので、やはりその人に上手に情報を伝えていくところが、今は必要だろうなどすごく感じています。

お父さんたちがどんどん時間を作ってくれて、そういう人たちが増えていってもそのお父さんは普段仕事に行ってしまうので地域の人に、隣近所での会話だとかそういったものが増えていくようにするのが、やっぱり私どもの課題だろうと認識しています。

## ○小山委員

今のお話に関連して1つ質問したいのですが、確かにあの地区はいわゆる子育て世代の家族が増えているというのは分かるし、利用者が実感としてあるのだらうと思いますけれど、その中で市役所の業務で転入届を出すときに、このわくわくらんどのパンフレットを渡せるというのは、これは茅ヶ崎市全体でやっていることですか。すごいことやっているのだなと思いましたけど。それは市にお伺いしたい。

実際その辺の子育て世代が相当の比率で増えているのかどうか定例的な調査というのは、別におやりにはなっていないのでしょうか。

### ○湘南地区まちぢから協議会

実は、中島、柳島地区は個別住宅がメインで、マンションはそれなりにあるのですけれど、個別住宅も従来通りの土地の売り方というか、家を建てさせていく開発を、共働きで大体ローンを組んで、引っ越してこられるような世代の方々にちょうど合うぐらいに。昔に比べてずっと庭の面積は小さいけれど何とか手に届くような住宅。というのは不動産屋さんたちが、皆さん最初はちょっと高い値段で出してもどんどん下げていって、自分でも何とか組めるかなというような、売り方をしてくれているので。豪華な家をどんどん建ててというより、やっぱりそういう家族の方々が増えていくというところに業者さんも意識してくれています。

ですから、地域に新しく建っている家を見ますと、通常でいきますと大体 5000 万を超えるような値段がどうしても戸建てだとあるのですが、そこが大体 4000 数百万ぐらいから大体 4000 万を切るぐらいのところまで上手く作って、要するに何とかローンを組めてそこで生活していく子どものためにもという雰囲気住宅開発の人たちも意識してくれて、大体そういうものが販売されています。

### ○小山委員

驚きのお話をしていただいて、もしかしたら不動産の方たちとの接点を含めて、利用者の拡大に繋がる。

先ほど会長さんがおっしゃった連携をどうやって取っていくのか、これの課題だろうと思っすけど。その辺もあるのかもしれないね。

それから、私はちょっと不勉強でわからないのですが、このお出かけワゴンというのはどういう事業内容なのか教えてください。

### ○湘南地区まちぢから協議会

この「お出かけワゴン」は行政と相談しながら、もう 4 年、5 年になりますけれど、いかに地域の生活の手助けになるだろうかと。

実はこの地域は交通難所と言われています。国道はバスの路線が通っています。海岸は浜見平のところまでしか来ていなくて、まさに湘南地区は、交通難所になっています。

地域には市も何とか手を尽くしてくれていたのですけれど、道路が狭くてもう道路が決まってしまって結局新しい路線を引けないような場所なものですから。そうすると自分たちの力で何とかしようというのが始まって、ワゴン車を地域の施設の方が貸し出してくれるという話から、それを何とか動かして、地域の人たちでお出かけワゴンを動かしています。

ですから、どちらかという買い物だとか、病院に行くのが大変だという人だけではなくて、そういう人たちを含めて、地域の人たちが利用できるようにと。

ただどこにでも入れるような車というに乗れる人数が少ないものですから、常に満杯な状態になってしまって、その調整をしながら動かしているのですが、地域の方々が便利に自分が外出できる。

やっぱり商品は通販で買うより、ものを手に取ってそれで買いたいという人達はたくさんおられますので、そういう人たちの外出の支援に「お出かけワゴン」を使っていると思います。

#### ○小山委員

ありがとうございます。

驚きいったことをおやりになっている。会長さんのお人柄もあるのでしょうか、湘南地区の、利用者の拡大というのは、そういう1つ1つのきっかけを通じて、すべての人が利用していくことは難しいのですが、拡大が望まれるのかなと思いますので、ぜひ引き続きご努力をお願いしたいと思います。

#### ○中村委員長

この辺本来はまちぢから協議会が「お出かけワゴン」をやっているのですよね。

コミュニティセンターの企画事業との連携というふうに書かれたので、これはコミュニティセンターで企画があったらその日に来てもらうというイメージでしょうか。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

そうですね。例えば高齢者向けの教室をやったときにそのお出かけワゴンを利用して、乗っていただいたというふうな形で。

#### ○中村委員長

そうするときとお出かけワゴンが来ているから、ちょっと一緒に食べに行こうとかそういう感じですよ。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

行きたいけどなかなかそこまで歩いていくのは大変だという方がいらっしゃいますので、非常に喜ばれています。

#### ○山本副委員長

子どもの家のわくわくらんどの方で出していた資料で、わくわくらんどだけでなくコミュニティセンターの方もアンケートの結果報告がすごく良くできたものを出していただいて、特にわくわくらんどは今回これを見る限り、小学生のアンケートの取り方も、項目にシール貼ってもらうということで小学生に取りやすい方法で、これは他の施設でも、こういう形でやったらどうかなと思うのと、まとめ方もとても見やすく好感を持ったのですけれども、小学生だけではなくて、せっかくなら幼児を連れているお母様方向けのアンケートもぜひ併せて取っていただいて、結果をもらえらるともつと

いいかなと感じましたので、ぜひやってもらえるといいかなと。

ぜひ青少年課は、他の館にも、これだったら子どもたちも喜んでシールを貼ると思うので、他のところにもぜひご紹介して、同じようにもっといいアンケートの取り方があれば。その辺アンケートは結構みんな紙配って終わりということが多いので、そうならないように、お互いにいろんな意見を聞ける工夫をぜひお願いします。

良い方法を提供し合って、意見を聴取できるといいかなと思いました。ぜひ今後もよろしくお願ひします。

### ○湘南地区まちぢから協議会

やり方につきましては、青少年課の方に情報を展開して、他の館にも展開してもいいですよということで、すでにもう展開している館もあるみたいです。

それと、基本的にこういったアンケートを毎年3月にコミュニティセンターについては実施しております、一応その結果につきましてはコミュニティセンターだよりというものを発行してまして、これを各自治会回覧でまわしております。非常に評判はいいです。

### ○中村委員長

まず、コミュニティセンターですが、具体的にお出かけワゴンとかジャズダンスとか、まさに具体例でご提案されています。

これはなかなか大変ですけどぜひ実施をお願いしたいと思います。ここで書かれているところは多分もう準備されていると思いますけど。これはやっぱり効果があると思いますよ。ぜひお願いしたいと思います。

それから、ここは立地的にやっぱり難しい地域ですけど、駐車場が広いのですね。

これは逆手にとれば、やっぱり立地が不便でも車で来る人をターゲットにした、いろんなイベントの打ち方みたいな。さっき言ったお出かけワゴンなんてちょうどいい感じですよ。

その日に何かあるからそこに行って、人が集まっているからそこでいろいろやるという話になりますので、やっぱりこの駐車場が広いというのは、1つの強みになると思います。他のコミュニティセンターと違いますよね。駐車場があるかないかでだいぶ違うと思うので、そういうことも工夫されると、むしろこれは利点になるかなというのがありますので、そういう視点からの企画もして欲しいなという思いがあります。

### ○湘南地区まちぢから協議会

うちの館でいうと、音楽団体が結構利用されていて、やっぱり楽器を運ばなきゃいけない。そうするとやっぱり車でしか来られないということで、最近そういった団体も、このコミュニティセンターを使っていることが多いです。

それと、駐車場の利用につきまして、13台分の駐車スペースがあるのですが、やはり利用団体に平等に使ってもらうために、その部屋ごとに台数を決めています。

結構駐車場の取り方についても、いろいろ問題がありまして、いろいろやり方を考えて改善しております。

#### ○中村委員長

なるほど、いろいろ工夫されたんですね。

あとジャズダンス、これはニーズあるようですけど、そうすると、ここに書いてある姿見の設備は、踊りながら見なくてはいけないので、大画面というか大きい鏡が必要ですよね。大変ですよね。高いけど何とかありますかね。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

結構他の館で買われているところもありますので、その情報をもらって、検討しております。

#### ○中村委員長

これは市の方も検討しているのですか。

#### ○竹井主幹

検討していきます。

#### ○中村委員長

市の方はなかなか予算の関係があつて、多分大きい設備投資がちゃんとできないだろうと思しますので、ちょっとそこは工夫したほうがいいか。

鏡という大変ですけど、例えば反射シートみたいな、綺麗に貼れば鏡と同じ効果あるみたいなシートもありますよ。

だから、そういう工夫をされるだけでもちょっと違ってくるので、立派な鏡をやると、めちゃくちゃ高いです。多分そういう設備まで考えると大変ですけど、そこをうまくやれば。大部屋があるのであれば、ちょっとした工夫ですよ。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

このジャズダンスというのは、やっぱり当館を利用される団体は結構高齢者の方が多くて、若者の利用が少ないでも、最近若者にジャズダンスが非常に流行っているので、こういうことを活動として、利用していただければいいかなと考えております。

### ○中村委員長

やっぱり地域でリーダーがいるといいですけどね。

それから子どもの家わくわくらんどですけども、やっぱり卓球は人気があるのですか。

いいですよ、卓球であれば、卓球台と場所さえあれば。しかも夏休み期間卓球開放Dayがある。

### ○湘南地区まちぢから協議会

今回2日間夏休みにやりましたが、人気がありまして、小さい子も来るし、大人も来るし、高齢者の方も、来ていまして非常に評判良かったです。

ぜひ今後も企画して欲しいというような要望も出ております。要するに利用がないときに、やっぱりそういった形で自由に開放して使っていただければなというふうに思っておりまして、そういうPRもしながら。

### ○中村委員長

そうすると、ここには児童に人気があると書いてはいたけど、別に児童だけじゃないですよ。

全世代ですね。それいいですね、特に今卓球が世界で活躍しているので、ちょうど話題になっていていいかもしれないですね。そういう具体的な提案があったので、なかなかすごいなと思います。

あと維持管理費の中でちょっと心配しているのが、他の施設もそうですけど、これからの物価高騰で、どうしても金利が上がってくるので、5年間という期間で維持管理費が上がってくるのが想定されるだろうと。そうするともうご苦労はされているんですけども、そこは意識してやっぱりやっていかないと。そのうち修繕するにしても高くなってきていますから、ちょっとその辺の工夫はしてかなきゃいけないだろうと。

僕はいつも皆さんに言っているんですけど、かといって経費削減でサービスの低下になると困るので、本当に駄目な時はやっぱり事前に市とちゃんと協議するというか、もう厳しいですというのも、定期的にお話はされていると思うので、その辺は経費の中身もちゃんと市の方と連携しながら、自分のところだけで抱えないで、ここの部分は少しカットしようかとか、この部分のサービスを少し抑えようかとかとそういう話も出てくるかもしれないので、そういった意味からすると、市とちゃんとした協議ができる体制を作っておいてください。

2、3年は大丈夫かもしれないけど5年という長いので、ボディブローのように効いてくると思います。頑張ってください。

### ○湘南地区まちぢから協議会

そういった管理につきまして、四半期ごとにやっているモニタリングの中で、行政の方をお願いし

たり、調整したりしているケースがあります。

#### ○中村委員長

あと最初にコミュニティセンターを交流の場にしたいという発言があったので、これはすごく大事だと思っています。今新興住宅街のようなところは確かに新しい人同士で交流がないですから、こういうコミュニティセンターに来ていただく場を作ることによって、話し合う場がある。

顔を知っているだけでも、全然違ってくると思うので、多分コミュニティセンターが地域のための交流の場みたいな、そういう持っていき方という。

何でもいいですよ。何でもいいからイベントをいっぱいやって、こういう人にはこういうイベントをやって何かきっかけを作ってもらおう場というのがあって。最近の人たちもここに来るということで知り合うきっかけができると思うので、できればこういう活動を継続して行って、地域の中核の交流の場という位置付けになるように頑張っていたいただければなと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

今、提案する事項の中にも書いているのですが、夢わくわく公園とコミュニティセンターと一緒にいろんな企画事業をやったりしております。実はうちの横にドッグランがありまして、今の湘南地区はペットを飼っている家庭が多くて、そのドッグランの利用団体の登録が400を超えているみたいです。

先般そこの委員長さんともちよつと話して、今後ドッグランと夢わくわく公園とコミュニティセンターと一体となってコラボしながら、何か事業をやっているかという話も今進めております。

#### ○中村委員長

ドッグランは市の施設ですか。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

民間の施設です。夢わくわく公園と併設しています。

#### ○中村委員長

もし市の施設だったら、担当課と上手く連携取りながらイベントやるときに協力を求めたりとかできると思うし、いろいろ工夫や連携ができるのであれば、ぜひやったらいいなと思いますね。

#### ○湘南地区まちぢから協議会

あそこも駐車場はありますし、うちも駐車場がありますから、相互に利用させたりと、現在もやっております。

### ○中村委員長

市が関与してないのだったら、その民間とやればいいわけですから、民々の世界でうまくやればという世界ですよね。面白いですね、私も楽しみです。

他いかがでしょうか。大丈夫ですか。

そうしましたら、以上でコミュニティセンター湘南及び子どもの家わくわくらんどの指定管理者の候補者に対するヒアリングは終了します。ご協力ありがとうございました。

本日の委員会の意見等につきましては書面にて後日通知させていただきますので、よろしくお願い致します。

この後、委員の間で意見の取りまとめ作業を行いますので申請者団体の皆さんにおかれましてはもうこれで結構でございます。ありがとうございました。

### 【申請者退出】

### ○中村委員長

では、今から委員間での意見交換を行いたいと思います。

当日記述で何かコメントがありましたら、追加いたしますが、いかがでしょうか。

### 【委員意見交換】

### ○中村委員長

それでは、「評価できる点」、「要望する事項・期待すること・改善を要する点」ということで委員会の意見をまとめたいと思います。

コミュニティセンター湘南の評価できる点につきましては、1点目「湘南夢わくわく公園等の周辺施設との連携を図る提案があり、効果が期待できる。」、2点目「湘南地区のコミュニティを上手く把握し、発想豊かに一体感や連帯感を有する施設運営が期待される点は評価できる。」、3点目「おでかけワゴンとの連携、ジャズダンス等の具体的提案の実現性が高く評価できる。」。

要望する事項・期待すること・改善を要する点につきましては、1点目「津波、浸水災害に対する対応は市と連携をしながら、避難マニュアルの整備を早期に行っていただきたい。」、2点目「湘南夢わくわく公園等の周辺施設との連携効果が期待できる施設の特徴を活かしたより一層の運営に期待する。」、3点目「企画事業においては活動メニューの豊富化に加え、地域団体や参加者相互の交流がより活発になるような工夫をしていただきたい。」。

子どもの家わくわくらんどの評価できる点については、1点目「提案を求める事項について、来館のきっかけの創出や情報発信の記述があり、効果が期待できる。」、2点目「子どもだけでなく親

子そろって気軽に利用できる雰囲気づくりがあり、より良い居場所となっている。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点については、1点目「津波、浸水災害に対する対応は市と連携をしながら、避難マニュアルの整備を早期に行っていただきたい。」、2点目「親子そろっての参加者も増えているとの現状認識のゆえに、集まった方々の横の繋がりや、口コミの広まりを促す取り組みに期待したい。」、3点目「子どもアンケートの実施に伴う、効果的な施策の展開に期待する。」

施設全体に対する意見は、「事務局員等で小規模修繕を実施するなど、業務委託費等の経費削減に努めており、評価できる。」「駐車場の広さといった施設特性を活かした運営に期待したい。」「卓球開放デイの提案があり、継続実施の実現を期待する。」

以上、このようにまとめたいと思います。

#### ○前田主幹

ありがとうございました。

それでは、ここでお昼休憩を取らせていただきたいと思います。

### (茅ヶ崎地区コミュニティセンター、子どもの家茅っ子)

#### 【申請者入室】

#### ○前田主幹

それでは、ただいまより「茅ヶ崎地区コミュニティセンター」及び「子どもの家茅っ子」の指定管理者の候補者に対するヒアリングを行います。

所管課からの申請書類の説明及び委員の皆様からの質疑応答含めまして、25分程度とさせていただきます。

#### ○竹井主幹

申請書類の説明に入る前に、申請者の皆様にお越しいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会 安彦会長でございます。同じく城田副会長でございます。同じく祖一事務責任者でございます。以上となります。

それでは申請書類の説明に入ります。

まず、申請書3ページ、施設の管理運営に係る基本的な考え方については、管理運営にあたっての基本的な考え方が示されております。

各種規程に基づいて管理運営に取り組むとともに、中心市街地という立地条件を踏まえ、幅広い年齢層の利用者が気軽に利用できる施設づくりに努めることが示されています。

次に、申請書 5 ページ、組織、職員配置及び職員の育成については、組織や各部会の役割、事務局員配置や育成について示されています。当施設では、事務局員が日常業務を行い、事務責任者が業務の統括、指導等を行う組織体制とし、業務の適正化に努める旨が示されています。

次に、申請書 7 ページ、収支計画については、指定管理料に加え、印刷機・コピー機などの利用料金を収入とし、人件費、事業費、事務費、管理費、消費税等を支出することが示されています。

経費縮減の取り組みとして、定期的に点検を実施し、大規模な修繕とならないよう適宜修繕を行い、経費縮減に努める。光熱費については、照明の間引き、こまめな消灯を行い、経費縮減に努める。委託費について、値上げの妥当性を検証し、値上げ額の減少に努める。小規模な修繕については、外部に委託せず事務局員等で対応し、経費縮減に努める。などが示されています。

次に、申請書 9 ページ、施設の管理については、施設や設備の維持管理について示されています。

当施設では、施設の巡視点検を毎日実施し、施設内外の損傷等について迅速に対応することとし、突発的な事故が発生しないよう努めることが示されています。

次に、申請 11 ページ、施設の運営については、年1回の利用者懇談会の実施や「利用者の声ボックス」を設置し、利用者からの要望、提案を聴取し、サービス向上に努めることが示されています。また、広報紙やHP等を活用した情報発信と合わせて、SNS等の活用も検討する旨が示されています。

次に、申請書 13 ページ、危機管理については、情報セキュリティや災害時等の危機管理体制などについて、各種マニュアルをもとに対応する旨が示されています。また、併設する元町ケアセンターを含めた自衛消防組織体を設置し、有事の際の施設間での連携強化に努める旨が示されています。

次に、申請書 15 ページ、提案を求める事項についてです。当施設においては、「あらゆる世代の地域住民が集い、自主的活動が推進される取り組み」及び「低迷している夜間や調理室の利用率の向上に向けた取り組み」について、提案するよう求めています。

申請者からは、「あらゆる世代の地域住民が集い、自主的活動が推進される取り組み」については、地域特性、地域住民の関心があるテーマの企画事業を展開し、そこに参加した方々が自主的活動につながる流れが作れるよう努める。軽喫茶の再開を検討し、フリースペースの有効活用を図り、気軽に集うことのできる空間づくりに努める。と提案されています。

また、「低迷している夜間や調理室の利用率の向上に向けた取り組み」については、料理教室関連の企画事業に参加した方々が後日サークルを立ち上げた実績をもとに引き続き魅力ある企画事業を展開し、夜間や調理室の利用率向上に努める旨が記載されています。

最後、申請書 33 ページ、過去 3 年間の収支実績に基づく自己評価といたしまして、施設の運

営に関して事務局員と連携し、地域住民の自主的活動の推進、地域活動を通じた交流促進、人間性豊かな心を育む場としての役割を果たしたこと、それからコミセンまつりについては、全団体が発表機会を得られるようタイムスケジュールを工夫して開催したことが自己評価として記載していただいております。簡単ではございますが、私からの説明は以上となります。

よろしく願いいたします。

### ○山上課長補佐

続きまして、子どもの家茅っ子の事業計画書等について、青少年課からご説明させていただきます。

平成 13 年に市内で 4 番目の子どもの家としてオープンした子どもの家茅っ子は、茅ヶ崎駅に近い中心市街地に位置し、近隣にはショッピングセンターなどがあり、通勤通学者など多くの人が行き交う通り沿いにごさいます。

申請書 17 ページ、施設の管理運営に係る基本的な考え方、19、20 ページ、組織、職員配置及び職員の育成、23 ページ、施設の管理、25 ページ、施設の運営、27 ページ、危機管理につきましてはコミュニティセンターと一体管理しております。同じ考えで取り組んでおりますので、省略させていただきます。

21 ページをご覧ください。収支計画について、経費削減の取り組みとして、設備や備品の定期的な点検によりメンテナンスを実施することで、適切な維持管理と経費削減をすること。電力費削減対策として、ダウンライトの LED 化の推進、利用者がいない時間は消灯し節電に努めるなどが示されております。

29 ページ、提案を求める事項の乳幼児から小学生までの利用者ニーズに応じた事業展開について、季節に応じた装飾や BGM 等による居心地のよい演出、絵本の修理や新規購入等による利用者満足度向上に努めること、また、引き続き広報及びホームページによる広報活動を実施しながら、時代に合わせた SNS 等の活用も検討し、積極的な情報発信に取り組むことを提案いただいております。

そして、地域の中学校と連携し、中学生との交流事業を企画実施することで、子どもの家茅っ子の魅力と利用率の向上に努めていくことをご提案いただいております。

31 ページ、団体の概要書。こちらでは茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会の主な実績や業務内容が示されております。

35 ページ。公の施設の指定管理業務の実績報告では、過去 3 ヶ年度の収支実績等を記載しております。その他、関連する資料が添付されておりますのでご確認ください。

最後に、事前意見として提案を求める事項について、具体的な回答をいただきたいとご意見をいただいております。

具体的には、年に 1 回、子どもの家に特化した利用者アンケートを実施し、計画的に利用者ニ

ーズに沿った環境整備に努めること、また Instagram などの SNS 等の活用を検討し適切かつ効果的なタイミングと内容で積極的な情報発信を行い、新たな利用者の獲得に努めて参ります。

そして、近隣の中学校美術部の生徒のサポートを受けて実施した、夏休み課題絵画教室のように、地域との交流事業等を引き続き企画し、子どもの家の魅力度を高められるよう努めることを回答としてご提出いただいております。説明は以上でございます。

#### ○中村委員長

ありがとうございました。

では、これから委員の方からヒアリングという形でお聞きしたいと思います。概ねの時間 15 分ぐらい予定していますので、よろしく願いいたします。

#### ○若林臨時委員

恵まれた立地条件にある施設という中で、我々が事前意見で書かせていただいていることの回答にもございますが、軽喫茶の再開の関係を伺いたいと思います。

少し歩けば、飲食できるところがたくさんあるところでもありますけれども、地域コミュニティの活性化、地域の皆さんが学校仲間で集まる場所としては非常に意味のある場所なのかなというふうに思いますし、市内のコミセンの中でも軽喫茶を置いているようなところはそうないという状況の中で、とても前向きな回答ではございますが、予算の措置の関係も含めて 5 年間、どんな青写真を書いてらっしゃるのか、わかれば教えていただきたいなと思います。

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

コロナ前までは障がい者施設のご協力をいただいて、軽喫茶室を行っておりました。

コロナを受けてちょっと対応できないということで閉めているのですが、再開に向けて今までいろいろな折衝はしてきましたが、やはり家賃がかかるということで、その辺のところ結構ネックにはなってきております。

その辺のところまず課題をどういうふうに解決するかということと、できるだけ家賃がかからないやり方はないのかということも考えながら、家賃を減免していただくような処置を行政の方でしていただければ、またそこは変わってくるのかなとは思っています。

要望としてはやはり利用者さんから軽い飲み物とかそういったものを外に買いに行かなくても、その場で飲めるようなところがあると便利だという声もいただいておりますので、我々としてはぜひ再開して、利用者さんの満足、そしてフリースペースでの滞在の良好な環境を作ることが必要ではないのかと考えております。

#### ○若林臨時委員

ありがとうございました。ぜひ1つの強みとしてそのフリースペースの有効活用については、前向きに検討いただきたいと思います。

私は以上です。ありがとうございます。

#### ○中村委員長

どうですか。その辺は大丈夫そうですか。

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

かなり厳しいとは思いますが。食品を扱うということになると、衛生上の営業許可とか登録だとか、そういう設備だとかが必要になります。一応前のもの、水回りとかもあるので、そこはそんなに新たに経費がかかることはないと思うのですが、ただ衛生面の保健所関係をクリアしないと、要はできたものとか、この場で加工しないとかね、調理しないものとか、そういったもので済むという、保健所絡みもかなり厳しい部分があるのかなと思っておりますので、そこをどうクリアしていくかということで、自動販売機みたいなものも検討したのですが、やはり、1日4000人とかそのぐらいの来場者がないと、というようなそういった条件もありますので、どうクリアしていくかというところでは。

あとは人手ですよ。というのも、事務局員だけではなくて、他に雇わなきゃいけないとかという部分になるとまたその人件費とか。

#### ○中村委員長

そうですね。直営でやるか、それとも委託するかで全然違ってきますね

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

その辺のところをいろいろ模索しながら、検討はしております。

以前は障がいのある方を雇っている会社に運営していただいていたので、そこがやめるということで、その後閉鎖しているのですが、地元の婦人会にも声をかけたりしました。

大掛かりでやるのではなくて、まずは、コーヒーを出すとか、飲み物を少し出すと、それから電子レンジで温めてちょっとした軽食を出せるというようなところを婦人会あたりに、地元の人に声かけたりして、今やっているのですが、なかなかいい返事がもらえなくて、今後も頑張っていきたいと思っています。

#### ○山田委員

では、まずコミュニティセンターの方から伺います。

提案書の中に、コミュニティセンターがその地域の成長のきっかけになる非常に有効な場であるという認識は大変すばらしいと思いました。

それがゆえに、コミュニティセンターの中での活動の活発化とそれから来てくださった方に自主的に活動が進められるようにというご提案が7番に書いてありましたので、これについての質問です。

1つは自主活動への誘導ですね。これでどんなサポートをこれからしてみたいか、例えば茅ヶ崎にはサポートセンターがありますので、例えば何かやってみたいと言ったら、こういうところがあるよと紹介してみたりとかですね、そういうような自主活動への誘導の展望みたいなところを1つ。

それから来場者の関係づくりが当然地域の成長のきっかけにはなると思いますので、そういう仕掛けのようなものです。これが2つ目の質問ですけども、このあたりこうやってみたいこととか、これからの期間の中で、こんなふう実践してみたいというところがあったらお聞かせいただけますでしょうか。

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

これからやってみたいという部分では、やはり地域の歴史的な遺産が駅前ではありますけども、かなり豊富にある地域ではありまして、元町のところには石神遺跡とか、コミュニティセンターが設置している本村元町通りは昔、遺跡通りと言われていたというぐらいのところもありますので、そういった地域の歴史をコミュニティセンターで発信することによって、そこに新たに転居された方々とか、昔からいた人でもそこまで知らなかったとか、そういったところもあるので、勉強会を企画して、地域の人たちに知ってもらって、そこからまた新たな展開が広がればと思っております。

それと、梅田小学校の総合的な授業の中で、やはり地域のことを勉強されているお子さんがいて、今年のコミセンまつりもその小学生がお手伝いしたいということで、自主的にステージの司会をやってくれたりとか、そういったこともあります。

また、昨日先生から連絡があまりましたけども、コミュニティセンターの自主企画事業のポスターを子どもたちが作りたいと言っているので、そんなご相談もいただいております。そういったこと等も含めて小学生とコミュニティセンターとの交流もありますので、総合的にその辺のところを繋げることによって、お子さんそしてその親御さんを、コミュニティセンターを中心にいろいろな展開ができれば面白いのかなと思っております。

#### ○山田委員

ありがとうございます。

ということは地域で共通の話題を作って、それでみんなで話し合っていこうっていうプランですね、大変よくわかりました。

2番目の質問が、実はその子どもの家茅っ子の話で、どういう子どもたちや学校との関係づくりを進めますかということをお聞きしたかったのですが、今お話いただきましたので、その説明で承知いたしました。

どうもありがとうございました。

## ○中村委員長

私の方から。やはり最近の物価高騰、これがトレンドになってくると思っています。金利も上がってきますし、5年という契約期間の中で、長期的に見るとかなり厳しくなってくると思います。

そういう点から見たら、ちょっと意識しながら、やっぱり経費削減をやっていかななくてはいけないのだろうと思うのですが、ただ切り下げを意識すぎると、サービス低下に繋がってしまう。それはちょっと困るので、この辺は客観的に冷静に見ていく必要があるだろうと。

それからLEDの交換が提案されていますので、これはかなり効果があるようですので、頑張ってください。交換を目指していただければいいかなと。

当然交換すると費用がかかりますから、それとの兼ね合いですけれども、トータルで見て、逆に言ったら5年間だけで回収できないかもしれませんが、そのあとまで考えると、LEDは回収できます。そういう意味では5年だけを見るのではなくて、もうちょっと長いスパンで見ても良いかもしれません。その辺は市とよく相談しながら、長期的に考えて必要だと思ったのできつつけけれども変えますと、そういうことで相談するといいいかなと思います。ぜひ実現されたいいいかなと思います。

それから、喫茶の方はなかなか大変だそうですけども、これはちょっといろいろ頑張ってください。1つの目玉になりそうな施策だと思いますので、実現を頑張ってくださいたいなというのがあります。

それから、茅っ子の方ですけれども、中学校との連携ということで、これはすごくいい発想だと思っています。やはり学校のいろんな行動パターンと連携しながらという、複雑ですよね。放課後児童クラブがあって、役割分担が出てくると思います。

そうすると、そこはよく学校と市と連携して、茅っ子の役割はちょっと特化して、その全体の中でこういう位置付けでやっています。特に、コミュニティセンターとの連携と考えると、地域の交流の場としての拠点という観点がかかなり出てくると思いますので、その視点でうまく学校と連携しながら、例えば子どもたちのためだけではなくて親子をキーワードにするとか、そういう具体的な施策を1つ2つやり始めるというような。何も最初からあれもこれもじゃなくていいと思います。

例えば、普段からの利用者の方の声をアンケートだけではなくて、会話の中で、今日はどういうのできたよとかね、こんなのやりたいのだけどどうかなという話があって、それをお互い職員同士でメモにして交換して、できることからやればいいので、そういう細かいことをやってもいいのかな。そういうのを頑張ってみたらどうか。

それから、すごく立地がいいのですが、これは逆にマイナスの面もありますよね。何でも周辺にあるということは、周辺の人はそのちを使ってしまうので、ここに来なくても、ニーズが達成されてしまうことがあると、実はそのコミセンを使わなくてもいいという、他の地域だとコミセンしかないようなところがあるんですけど、ここだと、いや別にあそこがあるからあっちでいいよという話になると、やはり

何か工夫してかないと大変なので。逆に言うとコミセンとか茅っ子としての特色を少しアピールしないとなかなか来てもらえないというのが出てくるかなと。

そういう意味では、周知だとか、例えばビラでも、こんなことやりますよと周辺の商店街だとかに置いてもらうとかですね、特にコミセンまつり、これ多分一大イベントですよ。

一番人が集まる時期でもありますから、その時期に合わせて周辺の商店街だとかに、一緒にやるとか、それから協賛をもらって、ビンゴ大会に協賛をしていますとか、協賛をやると結構集まったり、抽選は人気があったりするるので、人集めもやってみてもいいのではないかなと。

何を言いたいかというと、要するに茅ヶ崎市の中でいろんなコミセンがあり、いろんな場所にあつて、いろんなやり方をやって、それぞれの特色ある。そうすると、ここは駅前という特色を生かしたらこのやり方があるよねというのを、打ち出したらいいのではと思っていて、そういう意味では一律じゃないので、地域をよく知っている皆さんじゃないとわからない世界だから、その辺をうまくやっていく工夫も必要があります。

例えば、周辺に歩いている人がいて、コミセンだからふらっと入ってくる人はいますか。あんまりいないですか。

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

街からちょっと外れています。南の方にある高砂コミセンあたりは、海岸へ行くときに目にしているから結構立ち寄るということがありますがね。こっち側は200メートルぐらい入っているので、なかなか難しいところがありますね。

#### ○中村委員長

駅から近いと言いながら、知っている人でないと、寄らないというところなのですね。そういう意味ではちょっと工夫が必要な施設ですね。

あと子どもたちは結構集まりますか。

#### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

子どもの家は、未就学児から小学生までが結構入ってきます。

保育園も空いているときには使わせてくれないかと、あんまり長い間時間は取れませんが、貸し出したりしています。

だから、子どもたちは結構喜んでもらっています。事務員が工夫して、いろんな遊び道具を用意したりとかしていますので、子どもたちには意外と喜ばれているのかなと。

#### ○中村委員長

ぜひ、難しいところもあるかもしれませんが、引き続き頑張って、いろいろと工夫をお願いでき

ればと思います。

他いかがですか。

### ○小山委員

企画事業を年6回計画されている計画になっている。テーマとしては「健康、福祉、地域を学ぶ」という中で、先ほど茅ヶ崎の歴史ということで小学生の参加云々の話もあったと思いますが、これから5年間で、例えば、継続的にこのテーマを中心に追っかけようとか、或いは主にこういうようなものを企画していこうとか、なかなかこれ以外に興味を引くテーマが難しいだろうと思いますけれど、そういう5年間を含めて計画的なお考えはお持ちになっているのかということをも1つ質問したい。

それから、同居する元町ケアセンターとちがさき丸ごと博物館友の会とも連携をしたい。なかなか面白い団体があるのだなあと見ていますが、そういうところと連携していくと、1回やりました、はい終わりましたとなっても、もったいないような気もしますし、それから一方ではいろいろな企画事業の参加型のものは皆さん楽しんで参加していただける可能性があるのでしようけれど、そういう歴史だとか、実績だとかをセミナー的に聞く一方的な事業だと飽きてしまうのかなという心配もあるのですが、その辺の実際やってみて、或いはこれからやろうとするお考えの中で、何かお話いただけるものがあつたら説明をしていただければと思います。

### ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

長期的にこれを柱にというのはまだそこまでのものはないですが、やはり隣接している元町ケアセンターさんとの連携は、継続してやっていきたいと思っております。それは、高齢福祉の面に関して、隣がケアセンターということもあって、かなり高齢の方の団体さんが流れの中で知っていただいて使っている方もいらっしゃいますので、そういった健康的な部分の話を講座とか、そういうのは引き続きいろんな方法、テーマがあると思いますので、やっていければと思っています。

それから、やはりお話されたように、講座のような、部屋の中だけでやるものは、やはり集客率はあまり良くない部分もあるので、ちがさき丸ごと博物館友の会さんは実際に外に出てみて地域の歴史を案内してくれる団体さんですので、今打ち合わせしているのですが、3月には新栄町の巖島神社だとか、その辺の歴史とか、茅ヶ崎駅の歴史だとか、そういったことを学びながらコミュニティセンターを出発して、ぐるっと回ってまた帰ってくる。そういったことを去年も居村B遺跡という村の遺跡を巡るツアーをやっていますので、ここも先ほどお話ししたように、コミュニティセンターから出発して、いろんなコースができますので、年に1回ぐらい計画立てています。いろんなコースがまだありますので、今打ち合わせしている中でも浜降祭の歴史に関して学んでみようとか、そういった講座も開いていきたいとか、まだまだ引き出しはいっぱいあるのかなと思っています。

## ○小山委員

そういう引き出しを実現できる相手役が要りますよね。

こちらでは、たまたまちがさき丸ごと博物館友の会という非常に御社にとっては恵まれた方がいて実現ができると思いますので、ぜひその点をもっと連携を広めたり深めたりして、企画事業の充実を図っていただくようお願いしたいと思います。ありがとうございます。

## ○茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会

もう1点、調理室がありますけれど、その稼働率が非常に悪いものですから、小さい会議等は、重なったりすると調理室を使うということもやっているのですが、なかなか設備的に高かったりして、できない面もあります。それで調理室を何とか有効活用しようということで、元町ケアセンターが併設でありますので、そこではお昼ご飯を作って出していますので、シルバー向け料理とか、それから男の人が一人暮らししているようなところで、やっぱり料理を簡単にできるような、前には男の料理教室もやっていたのですが、またその辺もひっくるめてそのケアセンターと調理室をタイアップして、そんなものを企画したいなど。

それと、商店街の和菓子屋さんが出張で和菓子の作り方を教えますとか、そういう情報も入りつつあるので、その商店街とタイアップして、何か催し物をして集客していければなども思っています。

## ○中村委員長

ありがとうございます。

ケアセンターとの併設は、やっぱり強みになる可能性ありますね。ぜひ連携をしていただきたいと思いますし、特に調理室の活用という意味では何かメリットがありそうですね。

それから歴史講座、これは面白いですね。やっぱりそれができることは素晴らしいですね。興味ある方は地元結構いらっしゃるのではないですか。この講座だけで結構集客があるような気がしますよね。

これをずっと続けていくと、これを楽しみに参加される方も定期的に集まるのではないかと思いますので、準備してコースを決めて安全性を確保してということとは結構大変ですけど、なかなか面白い企画だなと話を聞いて思いました。

他はいかがでしょう。よろしいですか。

そうしましたら、以上で、茅ヶ崎地区コミュニティセンター及び子どもの家茅っ子の指定管理者の候補者に対するヒアリングは終了いたします。ご協力ありがとうございました。

本日の委員会の意見等につきましては、書面にて後日通知させていただきます。

よろしく申し上げます。

この後、委員同士で取りまとめ作業を行いますので、申請団体の皆様、今日はありがとうございます。

ました。これで結構でございます。

### 【申請者退室】

#### ○中村委員長

では、今から委員間での意見交換を行いたいと思います。

当日記述で何かコメントがありましたら、追加いたしますが、いかがでしょうか。

### 【委員意見交換】

#### ○中村委員長

それでは、「評価できる点」、「要望する事項・期待すること・改善を要する点」ということで委員会の意見をまとめたいと思います。

茅ヶ崎地区コミュニティセンターの評価できる点につきましては、1点目「提案を求める事項について、フリースペースの有効活用について、効果が期待できる。」、2点目「コミュニティセンターの運営を地域社会の成長のきっかけと捉え、地域づくりの拠点としての役割を担った施設形成が見込まれる。」、3点目「調理室の活用や併設されたケアセンターとの連携の構想について評価できる。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点につきましては、1点目「提案を求める事項について、提案以外の効果が期待できる取組の実施を期待する。」、2点目「参加者の繋がりや成長がコミュニティセンターの様々な活動を活発にするため、更なる活動の充実を図り、来館者の関係づくりに注力いただきたい。」、3点目「軽喫茶の実現はコミュニティセンターの魅力に繋がるため、市とよく協議し、実現に向けての取り組みに期待したい。」

子どもの家茅っ子の評価できる点については、1点目「地域の中学校との連携等は高く評価でき、引き続いての努力に効果が期待できる。」、2点目「季節に応じた装飾等の遊び場づくりの努力は、利用者の声に基づいた施設運営をしてけると期待できる。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点については、1点目「提案を求める事項について、提案以外の効果が期待できる取組の実施を期待する。」、2点目「中学生との交流事業は小学生までの利用者にとって良い取り組みであるため、利用者間の関係づくりを促す活動を引き続き実施していただきたい。」

施設全体に対する意見は、「事務局員等で小規模修繕を実施するなど、業務委託費等の経費縮減に努めており、評価できる。」「駅から近い好立地を活かした利用者の増加に繋がる施策の実施に期待したい。」

以上、このようにまとめたいと思います。

○前田主幹

ありがとうございます。

次は入れ替えも入れて、45 分からとさせていただこうと思います。

(鶴嶺東コミュニティセンター、子どもの家さんぽみち)

【申請者入室】

○前田主幹

それでは、ただいまより「鶴嶺東コミュニティセンター」及び「子どもの家さんぽみち」の指定管理者の候補者に対するヒアリングを行います。

所管課からの申請書類の説明及び委員の皆様からの質疑応答を含めまして、25 分程度とさせていただきます。

それでは所管課より説明をお願いします。

○竹井主幹

市民自治推進課より説明させていただきます。

説明に入ります前に、本日、申請者の皆様にお越しいただいておりますので、まずご紹介をさせていただきます。

なお、本日、尾坂センター長が来られる予定だったのですが、所要により急遽欠席となっておりますので、お伝えしておきます。

本日お越しいただいております、松本副センター長でございます。同じく、中村事務局長でございます。以上 2 名の方にお越しいただいております。

それでは、申請書類の説明に入らせていただきます。

まず、申請書 3 ページ、管理運営に関する基本的な考え方で、当該施設は近隣の小・中学校高等学校等、学校が多いこともあり、そういった学校施設と連携を深め、地域全体の交流と発展の中心の場として機能を高めていく旨が記載されております。

続きまして、申請書 5 ページ、収支計画に関しまして、経費縮減の取り組みといたしまして、消耗品の購入や修繕業者の選定にあたっては、複数社からの見積もりを取得する旨、空調の温度設定について一括管理することで適正な温度設定を行っていく旨、植栽の水やりは、雨水を利用し、除草や剪定については事務局員等で実施することで経費の縮減に努める旨が記載されております。

続きまして、申請書の 6 から 8 ページに関しましては、施設の管理運営について各種マニュアルをもとに、対応する旨が記載されております。

申請書 9 ページ提案を求める事項についてです。本市より「あらゆる世代の地域住民が集い、

自主的活動が推進される取り組み」や、「低迷している夜間をはじめとした施設全体の利用率の向上に向けた取り組み」について提案するよう求めたところでございます。

申請者からの回答といたしましては、まず例年各自治会をはじめとする各地域団体と連携して、開催しているコミセンふれあいまつりを継続して実施することで、地域との連携を深め、地域コミュニティづくりの場としての充実化を図る旨、また地域を舞台とした鶴嶺東歴史巡りを継続して実施することで、地域事業に参加するきっかけを創出、子どもから高齢者まで多くの地域住民に地域への愛着と誇りを持っていただくことで、地域コミュニティの発展に貢献できるよう努める旨、提案していただいております。

また、利用率の向上に向けた取り組みについては、小中学校と連携しながら実施している子どもたちの作品展において、多くの子どもや親世代が来場される事業となっていることから、より一層多くの地域住民に楽しんでいただけるよう努める旨、また東海大学人力飛行機チーム、TUMPAの指導のもと、小中学生保護者の方々と紙飛行機を作り、飛ばして楽しむ事業となっており、多くの方が参加する事業となっております。

引き続き、より充実した内容となるよう努める旨、提案していただいております。

最後になります。申請書 20 ページ、過去 3 年間の収支実績をもとに自己評価をしていただいております。敷地内西側のフェンス改修やピクチャーレールの取り付け、会議室の椅子の更新など、経年劣化と見られる修繕や利用環境の整備等を積極的に行い、利用者の安全確保、利便性の向上に努めた旨、また、年間を通して空調の設定温度の調整を一元管理し、適正な温度設定とともに夏季は緑のカーテンを実施し、節電に努めた旨を自己評価として記載していただいております。簡単ではございますが、私からの説明は以上とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

### ○山上課長補佐

続きまして、子どもの家さんぽみちの事業計画書等について、青少年課からご説明させていただきます。

平成 16 年に市内で 5 番目の子どもの家としてオープンしたさんぽみちは鶴嶺東地区の田園地帯にあり、近くに小出川が流れる、のどかな自然環境の中でございます。

また、道を挟んだ向かい側には浜之郷小学校があり、コミュニティセンター内には児童クラブも併設されています。

申請書のうち 10 ページ、施設管理運営に係る基本的な考え方、11 ページ、組織職員配置及び職員の育成、13 ページ、施設の管理について 14 ページ、施設の運営について 15 ページ、危機管理については、コミセンと一体管理としておりますので、同じ考えで取り組んでいることから省略させていただきます。

12 ページをご覧ください。収支計画でございます。収支計画について、経費縮減の取り組みと

して、備品購入を各年度に分けて計画する、必要な事務数において集中管理で節電し、植栽は雨水を利用して水やりを行い、除草、植栽の剪定を管理運営委員会が実施することなどが示されております。

16 ページ、提案を求める事項をご覧ください。

乳幼児から小学生までの利用者ニーズに応じた事業展開について、従来実施してきた内容の変化が乏しく感じ、保護者とともに参加する実験や工作が楽しいという利用者からの声から、地域の講師を招き、新規事業として工作や実験教室を開催し、利用者増加に繋がる取り組みを実施すること、またイベントポスターやチラシを広報紙回覧ホームページ等で周知し、広報活動にも積極的に取り組んでいくことをご提案いただいております。

その他、既存の設備等環境を整備しつつ、安全安心に利用いただけるよう、十分配慮していく旨をご提案いただいております。

18 ページ団体の概要書でございます。こちらでは、鶴嶺東地区コミュニティセンター管理運営委員会の主な実績や業務内容が示されております。

21 ページ。公の施設の管理、指定管理業務の実績報告書、では過去3カ年度の収支実績等を記載しております。その他、関連する資料が添付されておりますのでご確認ください。

最後に、事前意見として、近隣の小中学校等との密接な連携で利用者の増加を図るなど、工夫がされているが、今後多様化する利用者ニーズを十分把握して、さらなる利用者増を図って欲しいとご意見をいただいております。

提案を求める事項等に記載したような利用者ニーズを酌み取った様々な事業を展開しながら利用率向上を努めていく旨を回答としてご提出いただいております。説明は以上でございます。

### ○中村委員長

ありがとうございました。

それではこれからの委員からヒアリングという形で行います。概ね時間15分程度を予定していますので、よろしくお願いします。

ではご質問ご意見ある方いらっしゃいましたら、どうぞ。

### ○山田委員

それではまずコミュニティセンターの方から質問させていただきます。

今回提出書類を拝見して非常に質問に対して細かく丁寧に回答を記述していただきまして、その辺素晴らしいなというふうに思いました。

それから利用者情報の収集ですとか、それから地元感を生かした活動メニューというのが、非常に安定感というか安心感がある内容で、こちらも大変魅力的だなというふうに思っていて、その点で7番の提案事項に繋がるのですけれども、その中にも2つの回答のうち、いずれも地域ネット

ワークづくりですとか、利用者間のネットワークには一生懸命取り組んでいきたいということがありましたので、そうしたところをより適切に把握するように、来場者のコメントですとか、来場者の声を、今後どのように聞き取り、それを次の施策展開につなげていこうとなさっているのかについて、予定を教えてください。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

1 つは全体的な声を聞くということで、年に 1 度、各利用団体には、一斉にアンケートをお願いしまして、いただいたアンケートに対してはこちらからコメントを各団体にお送りしております。

そこで改善が必要な事項については、こういう改善をいたしますということで、実際に改善いたしております。

例えばですが、各利用団体の紹介の場を設けて欲しいというアンケート。これは何年か前からあることですが、実際は非常に見えづらいところに綴じたものがあって、そこを見ていただく形にしていたのですが、それだとなかなか気づいてもらえないということで、壁に利用団体の声を全部張り出しているコーナーを設けております。

そういった形でアンケートをただいただくだけではなくて、それに対する答えも出していくというようなことで動いております。

それと、事業すべてではないのですが、特に新しい事業については特にですが、事業が終わって参加していただいた方たちにいろんな声をいただくためにアンケートをとっております。

その声を反映して次の年にその事業をやっていくというようなことをやっております。

#### ○山田委員

ありがとうございます。壁に貼り出せば来た方が目にできるようにという配慮もなされているということですね。

続いて子どもの家さんぼみちの方ですが、こちらも大人が子どもと接する場をたくさん作るという運営方法については、素晴らしいなと思いましたが、こうした良いことを広く地域の方に伝えるために、例えば口コミですとか、そういうのを促すために、これから、こういうふうに取り組んでみたいとかこういうことを実践してみたいというところがありましたら、こちらも予定でも結構ですので、お知らせください。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

そういう意味で言うとホームページの活用が 1 つあるのですが、まだ具体的に取っかかっておりませんから、今後考えていきたいと思っています。

今のホームページが使いやすいかという、必ずしもそうでもない、その辺も含めて考えていかないとまずいなと思います。

なぜ使いづらいかというと、ホームページはまちぢから協議会の中の一部になっています。コミュニティセンターに飛ぶまでちょっと探さなくてはいけないというようなこともあるので、それも含めて、考えないといけないと思います。というのは、あえて言いますけれども、まちぢから協議会のホームページというのは茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会で作っていただきました。

ですから、茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会とも協議しながらやらないといけないと思うのですが、その点は改善を要するのではないかなと思っています。

もちろん、あとは各自治会をお願いして回覧をいろいろやっていますけども、そういう中でももちろん触れていくということが大事だということと、あと広報は2ヶ月に1回発行しているのですが、その中では今でもやっていますけども、少しずつ子どもへの紹介とかこういうことやっていますと紹介はしています。だから、そういうところを充実していくことが必要かなと思っています。

### ○中村委員長

他いかがでしょうか。

### ○若林臨時委員

ありがとうございます。

コミュニティセンターですが、事業計画書の提案を求める事項の中で、鶴嶺東歴史めぐりの実施というものがございます。

ご存じの通り、歴史ある茅ヶ崎の中でも歴史ある懐島地区というようなことの中で、数多くの寺社があったり、歴史的な構造物があったりする場所ですけれども、この歴史巡りの実施というのは、これから企画していくという話でしょうか。もうすでに取り組んでいる内容だということよろしいですか。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

実はこの事業を始めたきっかけというのは20周年記念事業、2年前にスタートいたしまして、そこからまず地域にどんな遺跡があるかを調べてマップづくりも含めてやりまして、去年一昨年からですか、歴史巡り自体はスタートいたしまして、その過程の中でコミュニティセンターの役員とか事務員が主体的にガイドをするのではなくて、ガイドをしていただく方を育てようということで、今4コース設定しているのですが、各コースにガイドの養成も含めて、この2年ぐらやってきました。

そういう方々に今全部お任せしてもできるような今状態になっています。それを今後、どんどん発展させていければと思っています。

もっと言うと、こういった事業はコミュニティセンターが主体的にやるのではなくて、各地域にそういったガイドの方が育って、そういう育った方たちが主体的にそういう活動をやっていただければかなと思っています。

これはある程度、そういう形が見え始めてきていますが、そのように考えております。

#### ○若林臨時委員

ありがとうございます。

とてもすばらしい取り組みだと思います。

地域の資産をいかに生かしていくのかは大切ですし、鶴嶺東地区につきましては、古い方々と新しい方々が混在する大規模な集合住宅もできている中で、新しい方々が地元のそういった、歴史的なものを、興味を持っていただくようなきっかけになれば、また地域がますます発展していくのではないかと思いますので、ぜひ取り組んでいただければと思います。

#### ○小山委員

個人的なお話をして申し訳ないですけど、私ども茅ヶ崎市に住んでほぼ 50 年いるのですが、この計画書を見て鶴嶺東というのは歴史のある地区で、かといって一方では小中学校もまとまっている非常に魅力あるまち、地域だなあと初めて感じた次第で、こういう今若林委員からもあった取り組みは、より拡大をしていって欲しいということを通じて、この地域の、先ほど言った、いわゆる特性をもっと広く PR してもいい、伝えるべき内容でもあると思います。これはコミセン或いは子どもの家だけの話ではないので、なかなかそこまで難しいというお考えはあるかもしれませんが、ぜひご努力いただいて、もう 1 つは広げていただくようなご努力も合わせて、やった方がいいのではないかなという非常に個人的な意見ですけど、ぜひお願いしたいと思います。

ありがとうございます。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

そういった意味では地域に根づいた活動を目指しておりまして、そういった観点から、実は作成したガイドマップを各学校に 100 部、各自治会に 50 部を配布して、これをもとに独自の活動をお願いし、もちろん協力すべきところはいたしますけれども、そういった形で地域全体でこういった活動ができればと思って、そういう方向で進めていきたいと思っています。

#### ○小山委員

追加で、先ほど歴史あるコースを 4 コース説明できるような人はそのまちぢから協議会のメンバーの方ですか。それとも何かそういう人を別途育てているのでしょうか。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

これにはまちぢからは特に意識していなくて、協力していただける地域の有能な方を、要するに人的ネットワークがありますので、大体どういう方がいるかわかっているのですが、そういう方たちにお願

いたり、リーダーは、お名前はお出しませんが、地域の教頭先生をやっておられた方で非常に詳しい方がおられて、その方にいろいろアドバイスいただきながらやっておりました。

各ガイドはもうすでにある程度育っております。

### ○山本副委員長

私の方から今改めていただいた資料の中に、地域に水が結構出るといふか、小出川が近いのと、それから鶴嶺なら大雨が降ると、水が出る場所でもあるかと思うのですけれども、そういったことに関して水害とか、その点に関しての対応マニュアルは、今これを拝見した中では火災とかはありますが、その辺りのものは、特にマニュアル的なものが見当たらないので、普段そういった風水害、台風が起きたときとか、小出川が増水したとき、そういったときの対応についてはどのように、あと今後そういうものをきちんと整備するとかそういったお考えがあるかどうか、その辺を伺いたいと思います。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

まずコミュニティセンター独自のマニュアルはまだ作成しておりません。それは、今地域で風水害、特に水の問題ですけれども、これはまちぢからもそういった部会がありますし、それから各自治会が主体となって避難活動をしようという、今そういう仕組みになっています。

ですから、コミュニティセンター独自で動くということはまずないと思います。それは、その中で避難行動訓練は各自治会において毎年やっておりますし、そちらに協力という形はありますけれども、先ほど申し上げましたように、私ども独自にやる予定は今のところないです。

### ○山本副委員長

あそこに行く途中で結構水が出る場所はあるかと思うのですね。利用者さんの行き帰りもあるので、それこそ、市で浸水マップもあるけれども、コミュニティセンターの周り、ここ来るときにここは水が出るからこっちから行ったほうがいやとか、そんな形でもう少し利用者さんの行き帰りの安全面も少し今後加味してもらえるといいかなと思います。自治会は自治会のそれぞれのテリトリーであって、コミュニティセンターはいろんなところから人が集まるので、その辺を含めて、ちょっとその辺りも今後考えてもらえるとどうかなとちょっと感じました。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

そういった意味では、今マニュアル化しておりませんが、水が出そうときどうするという中で、口頭ですけれども、徹底しているのは、危ないと思ったら、コミュニティセンターはそんなに建物が高くないので、水がある時そんなに安全とは言えない。その時は小学校が避難所になっているので、小学校に誘導してくださいという話はしております。

ただ、これも付け加えますと、今までそういう避難訓練だけでなくてちょっと前、台風 19 号の対応がございましたね。

あのときに浜之郷小学校に避難したのですが、その時かなり問題が出ていまして、そういった指摘は自治会或いはまちぢからとして、市の方にこうした方がいいのではないかという話はいたしております。

結構大きな問題がその時あったのですが、というのは、浜之郷小学校は低いところにあります。1 階が避難所なのはとんでもないという話がありまして。

#### ○中村委員長

だからこれはちょっと意識合わせというのですかね。

要するに、近隣の住民の方はとりあえずコミュニティセンターに逃げ込め、みたいな話になると実は安全なのは小学校だからとなる。コミュニティセンターの職員は基本的に安全な場所は小学校なので、逆に言ったらここにいるよりも小学校に行くと誘導ですよ。

その原則論をちゃんと徹底するというのが大事なかと。多分そういうことだと思いますけど、それをルールづくりという言い方ですけども、徹底するということだと思います。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

それはやっております。

#### ○中村委員長

僕の方からいいですか。

まず、コミュニティセンターからですが、やっぱりふれあいまつりが一大イベントですかね。参加人数も一番多いイベントになりますので、その割には経費 1 万円できているというすごいなという。そんなにかけてないなというのがあって、よくできているなと思っています。

こういうのは結構お金がかかるはずなので、よく実施できているなと感心しているのですが、何か工夫されているのですか。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

まず、模擬店が出ますけれども、各模擬店の自主採算制です。ですから、コミュニティセンターからは一銭たりとも出てないです。

あとは、皆さんから演芸なんかも自分たちの費用でやっていただけますし、作品の展示も皆さんの作品を作ってきていただいている。

費用とすれば来賓の方たちのお土産とかですね、そういう程度ですね、

### ○中村委員長

結構こういうのはポスターなんかも作ると印刷がかかっったりしますけど。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

手づくりでやられているみたいなの、要するに回覧としてはありますけれども、今回覧のポスターの紙1枚は非常に安いんです。ネットで頼むと非常に安いんです。

### ○中村委員長

僕らもそうですけど、AIなんか使うとポスターを勝手に作りますよね。最近そういうのもできるので、ちょっと工夫されると面白いと思います。

いや、随分安い値段でできているのはすごいなと思って。

作品展とかコミセンふれあいまつり、クリスマスイベントがそれぞれそんなに作っておられるのですごいなと思いました。

それから鶴嶺東歴史巡り、これは人気がありそうですね。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

実はまだ満足はしてはいなくて。というのは、私最初に企画した人間ですけども、子どもの参加をいっぱい期待していたのですが、そういう意味では学校にも協力いただいて、声をかけていますけど、なかなか子どもの参加が増えない。

お年寄りはもちろんたくさん参加があるのですが、それが今非常に残念だなと思っています。

### ○中村委員長

でも、むしろこれ大人の方が興味を持つかもしれない。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

結構昔から地元へ住んでおられる方でも、名前をある程度知っておられるのですが、遺跡の内容についてはほとんど知らない方が多いですね。

一緒に回っていただいて勉強になりましたと地元の方がたくさんいて、それが非常にありがたいのですが、ただ子どもにいっぱい参加していただきたいですね。

### ○中村委員長

もしかすると、僕の感覚だと子どもよりも大人向けのよう気がします。

歴史の勉強は多分大人の方が多いいのではと思いますので、コースを回るときには子どもも一緒

にどうですかというイメージです。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

学校経由で働きかけはしているのですが、なかなかそれが今、実現に至っておりません。

#### ○中村委員長

この地域独特ですか、やっぱり小中学校が多いのと、それから支援学校と学童保育という形で学校との連携が1つのキーワードになりそうな感じがあって、そういった意味からすると、この学校と連携しながらいろんなイベントだとか考えるのは、やっぱり1つの方向性としてこの地域の独自性としてあり得るような気がするのですよね。

やっぱり学校の方の行事と先生方とよく連携して、実はコミュニティセンターで今こんなことを考えているとか、逆に学校でどういう動きになっているか聞きながら、コミュニティセンターで何か手伝えると言うと、じゃあやろうかみたいの方がいて。学校行事になると結構いっぱいあるので、そういう意味からすると何か連携の余地がありそうな気がするなと思いました。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

そういう意味では、今コミュニティセンターのセンター長とそれから私ですが、学校運営協議会とか評議員とかありますね。あれに実は参加しています。

鶴嶺小・中、それから浜之郷小学校、その3つはコミュニティセンターの役員が参加しております、そこでいろんな先生方とお話し合いをしているところですから、そこからまたタネが生まれて次のものが生まれてくる可能性はあると思います。

今学校の方でも地域の協力を得た教育を目指しておられるようですので、学校との連携がこれからますます増えていくのではないかなと思っています。

#### ○中村委員長

逆に言うとコミュニティセンターがその地域の学校のいわゆる連携の何か核になるような、そんな動きをすると、すごく価値が出てきそうな気がするなと。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

そういう意味では、子どもたちの作品展はやっていますが、それはそういう形になっていると思います。

#### ○中村委員長

コミュニティセンターで作品展をやると、その学校のPTAなんかみんな来ますもんね。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

この作品展がなぜ良いかというと、普通そういう作品展で言うと優秀な作品だけを集めてやるような形だと思うのですが、私共がやっているものはそうではなくて、普通に書いた作品が出品されるのですけど、誰でも出品できるような形になっています。

それでそういう形をとると何が嬉しいかというと、子どもたちが、友人を連れてくるのはそうですけども、両親、それから祖父母を別々に一回で連れてこないで、それぞれと3回に分けてとか、そうやって来ていただいてもらえるので、それは非常に嬉しいことですよね。

要するに自分の作品があるとみんな喜んでこれ私のだよと。そういう意味ではねこれはますます広げていきたいなと思っているところです。

### ○中村委員長

なるほど、これは価値がある。いい施策だな。

あと、東海大のこれは何て読むのですか。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

「TUMPA(ツンパ)」です。琵琶湖でテレビでもやっていますけども、人力飛行機をやることです。この前は24名かな、来られて、それこそ個別指導みたいな形でやっています。

### ○中村委員長

これは目玉になりそうな気がしますね。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

これは褒めていただくことが多いです。それで、生徒さんたちもやっていて非常に楽しいと言っていた。というのは、飛行機を作って飛ばすのは、親子で来ていたりすると、親子で競争しながら作ったり、今の親御さんは紙飛行機をつくれないうちが多いので、親御さんが夢中になってしまったりとかですね。

だから中学生と小学生に分けているのですが、中学生から専門的な質問が結構出て、ですから理論的な講座もやっていただいているのです。

### ○中村委員長

ありがとうございます。

これは次の子どもの家とも連携しますけども、子どもの家の方も結構いろんな行事でちょっと後半に集中しているのですね、7月8月9月という。

そういう意味からすると、大体夏から秋ぐらいにかけてバタバタっといういろいろ頑張っってらっしゃる感じですが。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

というのは、7月8月になるのも、夏休みの関係があるので。東海大の学生さんをお願いするのでも、夏休みのときにということで、8月にやってもらうとかそういう形になっています。

#### ○中村委員長

これはあれですね。こういう飛行機づくりはこの鶴嶺東の施策なので、あくまで鶴嶺東の人たちでこうやろうということでのこの人数ですよ。

それだったら、茅ヶ崎市全体だったらものすごい人数集まっちゃいそうな企画だなと思いました。実際50人と言っても親子で来ると、それより実際多いですよ。

こういろんな中で人が集まりそうなのがそれぞれ散らばっているの、逆にそういうので口コミでね、あそこで面白いことやっているよというのは広がるといいなと感じた次第です。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

ちなみにこの学生さんたちの活動は、大学としても後押しをしてもらっているようですね。要するに学生たちが地域と密着したそういうことを、活動しろというような方針がどうもあるようです。

#### ○中村委員長

いいですね。

いや、確かに飛行機づくり教室も予算2万円ですものね。すごい安くやる工夫をされているなと。

あとは、みんなで遊ぼうハッピーデーはやっぱりもう恒例化していて、夏休みとしての行事になっているのですかね。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

対象が子どもですので、去年までは夏休みに入った最初の休みの日だったのですが、ちょっと暑すぎるので前倒したらどうかと、7月の初めにしたのですが、実を言いますとあんまり評判は良くなかったです。やっぱり子どもたちは休みの方がいいみたいです。それは試行錯誤しながらやっていきたいと思っています。

ここで昔の遊びとか、そういうのも地域の方の協力いただいてやっていまして、もっと幼児には金魚釣りとか、そんなこともやっていますけど、主に浜之郷小学校の生徒さんが多いです。目の前にあるので。

### ○中村委員長

さんぼみちは8畳の畳の部屋があつて、普通は畳の部屋は使われないですけど、逆なのですね。これはなかなかユニークです。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

小さい子どもたちが喜んで走り回っています。ただ畳表が2年しかもたないです。走り回っているの。子どもさんよりも保護者の方が喜ばれまして、よくいらっしゃいます。

### ○中村委員長

ぜひその辺の特色を生かして、普通、畳の部屋は使われないことが多いですけど。そういう使い方でもうぞという感じでやるといいですね。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

広い部屋で壁がありませんので、そういう面でもいいと思います。あれが閉じ込められた空間だったらあまり入らないと思うのですが。

### ○中村委員長

あと、結構毎年計画的にいろんな備品の購入を予定されていますね。

過去の例を見ても、結構ちゃんと計画的にやっていらっしゃるんですけど、心配なのは、今後は金利が上がったりとかで、物価上昇が予想される。指定管理は5年というスパンで契約されますので、そうするとやっぱりかなり厳しくなるだろうと予想されます。

それと、どうしても経費削減を考えなきゃいけない。これも5年のスパンで見ると厳しくなる可能性があるの、この辺は工夫しながらになります。削減が目的になって経費削減してサービス低下になるとちょっとまずいなと思っているので、その辺はもうどうしようもないときは正直に早めに市に相談した方がいいです。

そうするとやっぱり、事業内容を部分的には見直すとかという必要性も出てくるかもしれないので、全部自分たちで抱えるのではなくてやっぱりちょっとうまく意思疎通しながら相談していったらいいかなと思います。特に5年間のスパンだと心配な部分がありますので。

### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

市の方へは前もってリストでお願いを出しています。

### ○中村委員長

多分計画の中に、この年度はこれとこれ、この年度はこれとこれという形で計画はされていると思うので、まさにそうやって毎年少しずつやらないとちょっと大変になると思います。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

ここにきて経年劣化の問題がありまして、いつどこでどういう問題が起きるかよく見通しがきかないことが結構多いですね、今予定しているのはブラインドがもう経年劣化で 22 年経っていますので、相当傷んでいます。これはもう変えていこうと計画いたしております。これも結構かかります。

#### ○中村委員長

ちょうど造られたのが平成 16 年なので、劣化が始まるぐらいのタイミングですよね。だから今まではそうでもなかった感じですけど、これから出てきそうなタイミングの施設かなと思っているので、そういう意味ではよく注意していただいて、どっちかというとやっぱり壊れてから直すよりも、予防保守の方が安上がりになると言われているので、ちょっと気が付いたら早めに直すというのをやるだけでも大分違ってくると思います。

それは市の方と調整しながらやっていただきたいと思いますので、ある一定金額以上は市の方の責任ですけど、それ以外になると、指定管理者にお願いしなくてはいけないということがあるので、ちょっとその辺はうまくやっていただくということと、それからやっぱりどうしても放置をすると、最初は軽微でもそのうちその傷が大きくなると金額が大きくなっちゃったりするので、その辺はよく見ていただく必要があるかなと思っています。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

少し雨漏りが最近出てきていますので、これはもう一昨年にとちょっと補修していただきました。

#### ○中村委員長

雨漏りはなかなか原因が掴みにくいときがありますよね。雨漏りになると、結構大きい修繕になってしまう可能性があるのです。

特に利用者だとか子どもたち被害が及ぶような、けがとか健康に影響が出るようなことはちょっと気をつけなくてはいけないかなと思うので、それは必要経費の中に入ってくると思います。

それからあと、水やりは雨水を利用しているのですよね。そういう設備があるのですか。

#### ○鶴嶺東地区まちぢから協議会

地下に溜まるタンクがあります。ただ、そこも実は補修が必要な状況になりつつあります。タンク上の地盤がかなりへこんできていまして。下の貯水タンクにも影響が多分そろそろ出そうだと。

○中村委員長

なるほど。それは調べなくてはいけないかもしれないですね。

○鶴嶺東地区まちぢから協議会

コミュニティセンター独自ではできませんので、かなり予算がかかると思います。それはまた市と調整しながらやらないとまずいなと思います。

○中村委員長

直さなきゃいけないとなったら市は頭痛くなるだろうな。

そうすると、ちょっと要所要所見て、劣化が進むようだったら、やっぱり市の方に時々報告してあげるようにしてください。

他、いかがでしょうか。大丈夫ですかね。

以上で鶴嶺東コミュニティセンター及び子どもの家さんぽみちの指定管理者の候補者に対するヒアリングは終了いたします。ありがとうございました。

本日の委員会の意見等につきましては、書面にて後日通知させていただきます。よろしくお願ひします。

この後委員会委員の間で意見の取りまとめを行いますので、今日の皆様におかれましては、これで結構でございます。ありがとうございました。

**【申請者退出】**

○中村委員長

では、今から委員間での意見交換を行いたいと思います。

当日記述で何かコメントがありましたら、追加いたしますが、いかがでしょうか。

**【委員意見交換】**

○中村委員長

それでは、「評価できる点」、「要望する事項・期待すること・改善を要する点」ということで委員会の意見をまとめたいと思います。

鶴嶺東地区コミュニティセンターの評価できる点につきましては、1点目「利用者情報の収集の提案において、安定感と安心感があり、評価できる。」、2点目「人材を含めた地域資源を活用した活動がなされていることについて、評価できる。」、3点目「小中学校等が集約しているといった地域の特徴を活かした活動がなされていることについて、評価できる。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点につきましては、1 点目「提案を求める事項の着実な履行と、提案以外の効果が期待できる取組の実施を期待する。」、2 点目「地域のネットワークづくりに力を入れており、地域の拠点になるような活動の継続を期待したい。」。

子どもの家さんぽみちの評価できる点については、1 点目「近隣の小中学校等との密接な連携で利用者の増加を図る等の工夫がされている。」、2 点目「提案を求める事項について、乳幼児から小学生までの利用の取り組みの記述があり、効果が期待できる。」、3 点目「「地域で子どもを育てる」理念のもと、地域の大人が地域の子どもたちと接する運営方法は評価できる。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点については、1 点目「近隣の小中学校等との密接な連携で利用者の増加を図るなど工夫がされているが、今後多様化する利用者ニーズを十分把握してさらなる利用者増を図って欲しい。」、2 点目「施設と行事のアピールのために、様々な情報を提供しているが、今後は効果的な「口コミ」の形成に期待したい。」

施設全体に対する意見は、「事務局員等で小規模修繕を実施するなど、業務委託費等の経費縮減に努めており、評価できる。」「地域の歴史資源を活かした各種施策の継続実施に取り組んでいただきたい。」

以上、このようにまとめたいと思います。

#### ○前田主幹

ありがとうございます。

それでは、入れ替えも含めて 5 分間休憩をとりたいと思います。また再開は 50 分からとさせていただきます。

(松浪コミュニティセンター、子どもの家なみっこ)

#### 【申請者入室】

#### ○中村委員長

それでは委員会を再開いたします。

次の指定管理者の候補者に対する評価に移りますので、評価の説明は事務局の方からお願いいたします。

#### ○前田主幹

それではただいまより、松浪コミュニティセンター及び子どもの家なみっこの指定管理者の候補者に対するヒアリングを行います。

所管課から申請書類の説明及び委員の皆様から質疑応答を含めまして、25 分程度とさせていただきます。

所管課よりご説明をお願いします。

### ○竹井主幹

市民自治推進課より説明をさせていただきます。

申請書類の説明に入る前に、申請者の皆様にお越しいただいておりますので、まずはご紹介をさせていただきます。

松浪地区まちぢから協議会前田会長でございます。同じく杉本会計でございます。以上2名の方にお越しいただいております。

それでは、申請書類の説明に入らせていただきます。

申請書5ページ、組織職員配置及び職員の育成についてですが、当該施設につきましては、施設のシンボルマークの活用と、スタッフジャンパーやポロシャツ等を着用することで、事務局一体感の醸成を構築している旨が記載されております。

また申請書7ページ、収支計画については、経費縮減の取り組みとして、イベント時の人員の見直しによる経費縮減として、参加者数に応じた人員配置を検討する旨が記載されております。

また、小規模な修繕は、事務局対応、また見積もりは復習、複数社からとる旨記載されております。

続きまして、申請書の8ページ、9ページ10ページについては、施設の管理運営に関する規程が、各種マニュアルに基づいて対応している旨、記載されております。

申請書11ページ、提案を求める事項についてです。こちらについては、「あらゆる世代の地域住民が集い、自主的活動が推進されている取り組みと、夜間等利用率の向上に向けた取り組み」、また、「津波避難ビルに指定されていることから、有事の際の適切な対応を図るための体制づくりに向けた取り組み」を提案事項として市の方で求めています。

申請者からはまず、あらゆる世代の交流が深まる取り組みといたしまして、ユニバーサルガーデニングなどを通じて、普段利用していない高齢者やその家族が施設を訪れる機会を創出する旨、また小和田公民館と連携した成年後見人制度の勉強会などを実施し、相互に各施設を利用する機会を創出すること。また、小学生を対象とした子ども太鼓ワークショップなど好評事業を継続して実施していく旨が提案されております。

また、夜間等の利用率の向上に向けた取り組みとしては、運営委員会開催時に、各団体から調理室の利用方法を模索し、利用率向上に向けた対策を検討する。また、既存の手打ちそば体験など、地域で料理を得意とする方を講師とした企画を検討する。現在、午前中に実施している卓球開放を夜間の枠で実施できないか検討する旨が提案されております。

津波避難ビルに指定されていることに伴う有事の際の体制づくりに向けた取り組みとしては、適切な対応がなされるよう、津波避難時のマニュアルの整備を進める旨が提案されております。

最後、申請書21ページ。過去3年間の収支実績に伴う自己評価といたしましては、空調の温

度設定や照明の間引き点灯、フリースペースのコンセントの使用ルールを徹底するなど、経費の削減に努めたものが、記載されております。また、卓球開放Dayや子ども太鼓ワークショップなど新規事業を展開し、新たな利用者呼び込むことができたとの自己評価をいただいているところでございます。

簡単ではございますが、説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

### ○山上課長補佐

続きまして、子どもの家なみっこの事業計画書等について、青少年課からご説明させていただきます。

平成 27 年にオープンした子どもの家なみっこは市内で最も新しい施設です。

地域にはマンションも多く、若い世帯が多かったため、コミュニティセンターを作る際の地域を交えた検討会議の中で、幼児や子育て中の保護者の居場所となる子どもの家の設置が決まりました。

申請書のうち 12 ページ、施設の管理運営に係る基本的な考え方、13 ページ組織職員配置及び職員の育成、15 ページ、施設の管理について 16 ページ、施設の運営について、17 ページ、危機管理については、コミュニティセンターと一体管理となっているため、同じ考えで取り組んでおり、省略させていただきます。

14 ページをご覧ください。収支計画でございます。経費の縮減の取り組みについて、壁面デザインの工夫によるインク消費量の節減、設備や備品などについて定期的に点検を行い、小規模な修繕は可能な限り管理運営委員会で実施することなどが示されております。

18 ページ、提案を求める事項をご覧ください。子どもの家に来館してもらうきっかけの創出や効果的な情報発信を実現するため、ホームページの情報を充実化やミニイベントの増加を図ることをご提案いただいております。

具体的にはホームページにおいて、なみっこの遊具や利用方法について、単独ページを作成し、写真やイラストでお知らせし、なみっこ内にも該当ページの 2 次元コードを設置するとともに、必要に応じて電子だけでなく紙媒体も使用し、なみっこを利用したことがない方の目にもとまるように努めることをご提案いただいております。

また、ミニイベントについては、試験的になみっこ利用者が気軽に参加できる折り紙や簡易的に作ることができるおもちゃづくりのイベントを開催し、でき上がった作品は持ち帰っていただいたり、なみっこ内の壁飾りとして活用いただいたりすること、参加者に次回の予定を伝えることで、参加人数の拡充に取り組んでいくことをご提案いただいております。

19 ページ団体の概要書では、松浪地区まちぢから協議会の主な実績や業務内容が示されております。

22 ページ。公の施設の指定管理業務の実績報告書では、過去 3 ヶ年度の収支実績等を記載

しております。その他、関連する資料が添付されておりますのでご確認ください。

最後に、事前意見として提案事項の着実な履行と提案以外でも効果的な期待できる対策の実施も期待するとご意見いただいております。

提案を求める事項等とともに、定期的にアンケートを実施し、利用者ニーズを把握しながら、利用者向上に努めていく旨を回答としてご提出いただいております。

説明は以上でございます。

### ○中村委員長

ありがとうございました。

それでは今から委員の方からヒアリングという形で質問等させていただきますので、よろしくお願ひします。

時間は大体 15 分ぐらい予定していますので、お願いいたします。

では、ご質問のある方いらっしゃいましたら、お願ひします。

### ○山田委員

それでは、私からまずコミュニティセンターについて質問をさせていただきます。

今回書類を拝見して、まず地元感溢れる運営を計画されているところ、それから比較的新しい施設を担う意欲が提案団体の皆さんの言葉の端に感じられるところ。それから、メニューが豊富で、来場者に楽しんでもらいたいという気持ちが非常に溢れた記載になっているところが、大変すばらしいなと思いました。

その結果、令和 6 年度の実績報告書を拝見すると、フリースペースを中心に利用者が増加傾向にあるということで評価がありまして、着実にそういったところは実を結んでいるということがよくわかりました。

そこで質問なのですが、今回も提案を求める事項について、記載してくださった通り、メニューはたくさん挙げてくださっているのですが、そのあと、そういった集まった人たちにどのようなネットワークとか連携をその中で組んでもらいたいのか、或いは団体間の情報交換ですとか、個人個人の顔見知りを増やすとかですね、ますますそのコミュニティセンターが地元感を作っていくような場所として運営していくために、今やってみたいと計画されているところですか、こんな工夫ができるのではないかという予定とか予想で結構ですので、今後の運営の方向性についてお聞かせいただければと思います。お願ひいたします。

### ○松浪地区まちぢから協議会

まず利用者さん同士のコミュニケーションについて。

利用者さん同士、2 階のフリースペースでお話ができるように、テーブルを今は設置しています。



## ○中村委員長

他いかがでしょうか。

## ○小山委員

提案を求める事項の中で書かれているコミュニティセンターに関してのことですけれど、コミュニティカフェが包括支援センターさざなみと2ヶ月に1回地域の方を集めて、福祉の情報交換会を行っているという、これについてもう少し具体的にご説明をお願いしたいということと。もう1つ、調理室の利用方法は、ご苦労されているだろうと思います。調理室を持っているこのコミュニティセンターも同じようなご苦労されているかと思いますが、具体的には手打ちそば体験も入れ込んでいこうとかいう計画があるようですけれど、年に何回ぐらいやろうとかか、或いはその他にこういうことをお考えになっているかと言うようなことのお話ができるのであれば、その2点ご質問したいと思います。

## ○松浪地区まちぢから協議会

今の手打ちそばの話が出ましたけど、他の料理教室で利用されているお客様に、何かやってくれないかという会話をしまして、それで小和田公民館で料理をやっている方がいたので、小和田公民館の館長さんにちょっと紹介してくれないかをお願いをして、コロナ前はやっていたような気もするのですが、コロナがあってから全然、そういう利用がないから、今度手打ちそばをコミュニティセンターでいつでもいいからやってくださいと言ったら、はいわかりましたと。今すぐではないですけど、年明けぐらいから計画をいたしますからと。それが手打ちそばの件ですね。

それと、今別の料理をしている方にお話すると年寄りだから疲れるというようなお話も出てきました。そのように、うちのコミュニティセンターを使ってよと知り合いに声をかけ始めているのが現状でございます。

## ○小山委員

それからもう1つ、福祉の情報交換会というのはどういうものか。具体的内容を教えていただきたい。

## ○松浪地区まちぢから協議会

今のコミカフェと包括センターが、要するに認知症の関係の方々を集めるということで、そこでカフェの方がワンドリンク有料で包括の方でいろんな方を集めます。

それでまちぢからの私も出席してくれということで出席したり、その中でいろんな方と難病に関して話し合いとか、そういうことで20人前後の地域の方々が、集まっていろんな会話をしている現状でございます。

### ○小山委員

テーマは福祉に関してですか。

### ○松浪地区まちぢから協議会

そうです。

### ○中村委員長

他はいかがでしょうか。

私の方から、こちらは津波の際には一時避難所ですよね。要するに指定避難所じゃなくて一時避難所という形になりますので、近隣に指定避難所は多分あると思いますけど、そうですよね。

この辺はちょっと役割が違うので、そこはよく認識して、訓練のときもそういう訓練をしておいてください。一時避難所に指定されていると、とりあえず逃げてくる人が来てしまいますよ。ですが、それはあくまで一時なので、最終的にはちゃんとうちの一時避難所に逃げてきている人がいますというのを、ちゃんと市に連絡しないと、要するに指定避難所はもう避難者が来るものだと思って市の方に連絡しますが、一時避難所はあくまで暫定なので、そのあとはちゃんと的確な指示のもとに、例えば安全な場所にもう1回誘導する必要は出てきますし、それからやっぱり備蓄だとかそういうのもちゃんと検討する必要がありますので、その辺の準備はちょっと早急に進めるようにされた方がいいかなと思います。

ついこの前も、大きい津波が北海道から来ると思っていまらなかったから、想定外だったと思うのですが、またいつ来るかわかりませんので、そういった意味からすれば、今できるうちにちょっと着手しておいて、市の方とも連携しながら、準備とそれから訓練あたりは早急にやられた方がいいかなと思います。

それから、ここは特徴としてはやっぱり地域包括センターとの併設が1つの特徴かなと思います。

やっぱり併設しているコミュニティセンターは、他のところを見てみると、どういう施設と併設されるかによってコミュニティセンターの特徴が出てきますよね。

ただ、ここは地域包括支援センターということで、やっぱり福祉系になりますので、今こちらも言ったように、例えば成年後見制度みたいな形だったら福祉になるので、例えば、松浪はやっぱり福祉に強いぞというような特徴があればそこを、ある程度アナウンスすれば、イベントをやるときに、この地域だけではなくて他の地域からも、あそこの松浪コミュニティセンターだったら、福祉の方に話を聞いたら詳しいぞという話になる。

多分もうちょっと広がりが出るような気もしますし、そういう特色を活かしてもらうのもありかなと思います。

結局、こういう地域包括支援センターは地域福祉課と一緒にやるということは市との連携ができていますから。逆にそこからまた地域福祉課の人たちと話しながら、松浪としては市の周知だとか、そういうのにちょっと協力するから、こういうイベントをやるけどどうか。市の方もやりたいことが結構あるはずなので、そういうやり方もあるのではないかなと思いました。

それから、子ども太鼓ワークショップとか、手打ちそば体験とか、卓球開放という個別のものが出てきました。この辺人気ありますか。

### ○松浪地区まちぢから協議会

太鼓ワークショップは、2年前ぐらいから、ある学校の校長先生が定年になりまして、それでその学校で太鼓をよくやっていたのですね。

校長先生と知り合いましたから、今までやっていた太鼓をコミュニティセンターでも何とかできないかとお話をしましたら、やってくれるという話で、そういうことから話が進んでいきまして、それで今は太鼓ワークショップを一昨年からやり始めました。物は学校に保管してありますから、自分たちで運ぶのですが、その車をまちぢからの方で出しまして、太鼓を運んで返します。1回目は人数が相当集まりまして、一部親も同伴しますから。それで親はやりたいと言うような話で、次は二部制にしました。

それで1年生から3年生までを午前中、4年生から6年生までを午後と、二部制にし始めて、またそれでも親が同伴で来ますから、子どもが20人で親と合わせて40人になってしまうのですよね。それが今度2回、午前午後になりますから、100人ぐらいが太鼓ワークショップに集まっている現状で、校長先生もまちぢからの会長さんがそう言うのだったら、ずっと続けようかとか、いつでも辞めてもいいよというような会話も出てはくるのですが、地域の子どもたちのために続けてくださいというお願いはしています。

### ○中村委員長

逆に言うと、そば打ち体験とかも地元でそういう得意な方がいて、たまたまそういう人を引っ張り上げて、お願いしたのですか。

### ○松浪地区まちぢから協議会

個人的に電話をして、やってくれますかとお願ひしたら、いいよと言ってくれまして。

### ○中村委員長

そういうのが大事ですよ。コミュニティセンターならではですね。地域に繋がりがあるからそういう人材というのがやっぱり見つけられて、「お願ひします」「いいよ」という感じで。これすごく大事だと思いますので、ぜひそういうきっかけづくり、何気ない利用者の中の会話から出てくると思います

よ。俺こんな趣味やるぞとかね。

そういうところもヒントと思って、小さくていいですよ。とにかく、きっかけ作りでいろいろやっていくうちに、例えば人気のあるものは継続しようとか。失敗するのは失敗でいいと思うのですよ。いろいろやるのが大事ななと思います。

それから、夜間利用で午前中の実施の卓球開放、これを夜間にもということで、これも結構チャレンジングですね。

#### ○松浪地区まちぢから協議会

この卓球開放は子どもたちもいますけど、老人の方もいます。それでお話きくと、1回やると疲れると言う大人の方たちもそれでももっとやってよと。今度親子が一緒に来るようにもやっていますが、予約制をとって、午後からもと、検討はしているのですが、私どものコミュニティセンターは卓球を行うホールが人気で、毎日抽選をしています。卓球開放の日は、そのホールを卓球開放のために、まちぢから協議会で場所を取っています。

卓球ができないときは開放してくれよという声も出ているので、開放して、なるべく利用者が多いようにしたいなと思っています。

#### ○中村委員長

ありがとうございます。

なみっこの方ですけれども、いろんなイベントをやられたりしているので、やっぱり利用はかなりあるのでしょうか。定着していますか。

#### ○松浪地区まちぢから協議会

なみっこの方も保護者同伴、まだ小学1年生から6年生まで利用ができて、名前と電話番号を明記させています。小さな卓球台があるのですが、そちらの方はやっぱり4年生から6年生あたりになると利用が多いです。

女の子達は小さい子と人形遊びをしたりしています。

それと、すべり台があるのですが、それはもう小学生が乗ると壊れてしまうので、小さなお子さんしか乗らないです。輪っかくぐりというのかな、そういうのがあって、それを追っかけてくぐって遊んでいます。

#### ○中村委員長

あとホームページの情報でQRコードもやられているのですか。

#### ○松浪地区まちぢから協議会

最近はみんな QR コードで確認をやっていますから、若い方たちは、当たり前になっているので、やっています。

### ○中村委員長

こういうのも、すごく利用者の利便性向上になると思いますし、ミニイベントが結構ポディブローで効いてきますよね。参加人数が少なくてもいろんなことをやると、コミュニティセンターにくるチャンスが生まれるということで、要するにコミュニティセンターの場所がなじみの場所になるというのが、すごく大事だと思うので、あそこに行けば何か面白いことやっているかもしれないよね、みたいな。形だけでもいいと思いますよね。

そういう利用の仕方であれば、コミュニティセンターとか、このなみっこが地域の拠点になる、いわゆるその情報収集だとか交流の場になると思うので、それがコミュニティセンターとかこういう子どもの家の 1 つの役割だと思います。

こういう活動の継続がすごく大事なかなと思います。それから 1 点気になるのが、開館が平成 27 年、ちょうど 10 年ちょっと経って、そろそろ不具合が出始める時期です。

細かいのは出ていると思いますけれども、そろそろ不具合が出始めるのがこのタイミングですよ。ね。

この辺はちょっと注意していただいて、普段の巡回の中で、おかしいと思ったら、ちゃんと記録して市役所の方にも伝える、要するに予防保守の観点ですよ。

駄目になってから直すよりも危ないと思ったときに言っておいて、軽微な修繕をしていると結構安く上がったりするケースがあるので、これは普段の巡回の中でしか見つからないですよ。

だから、そこはちょっとみんなで意識して、何か不具合の兆候があったら記録して、それを市の方に伝えるようにしとけば、市の方はちゃんとそういう集約をしておいて、これはやっぱりちょっと 1 回検査しに行こうという話になります。本当に駄目になってからだと大きい金額がかかってしまいます。

しかも決まりで、幾ら以下は指定管理で直さなくてはいけなくなってしまいますので、そういうのはあらかじめおかしいと思ったら、早めに手当しておけば安く上がるので、気をつけていただきたいな。

特に、これからちょっと気にしているのが、金利が上がったりすると、物価上昇がどうしても出てきます。5 年という契約期間を考えると、やっぱりこの辺の負担が重くなってくる可能性ありますね。今はまだ多分そんなに発生してないと思うんですけど。

5 年を考えると、そろそろパタパタと不具合が出てきたりすると、その分の費用がかさんでいきますので、それも経費は抑えなくてはいけないと考えると、ちょっと意識してそういう活動も必要なのかなと思いますので、普段から心掛けてください。

### ○松浪地区まちぢから協議会

何かあると、ほんとちょっとしたことでも市民自治推進課に即連絡を取っているのが状況です。

### ○中村委員長

そうです。構いません。

市の方は、やっぱりいろいろな優先順位とか予算があるので、できる、できないがあります。けれども、やっぱり気が付いた点は言っておかないと、どうせ駄目だよねとほったらかすとポーンと大きい故障に繋がったりするので、むしろそれはちゃんとやっておくのは必要だと思います。

市は、他の施設もありますので、そういう全体像の中で判断しているので、そういった意味ではちゃんと伝える方が大事かと思います。

ありがとうございます。他いかがですか。大丈夫ですかね。

そうしましたら、以上で松浪コミュニティセンター及び子どもの家なみっこの指定管理者の候補者に対するヒアリングを終了いたします。

ご協力ありがとうございました。

本日の委員会の意見等につきましては、書面にて後日こちらから我々のコメントを伝えます。それから、この後委員同士で意見集約、取りまとめを行いますので、今日はありがとうございました。

引き続きよろしく申し上げます。

### **【申請者退室】**

### ○中村委員長

では、今から委員間での意見交換を行いたいと思います。

当日記述で何かコメントがありましたら、追加いたしますが、いかがでしょうか。

### **【委員意見交換】**

### ○中村委員長

それでは、「評価できる点」、「要望する事項・期待すること・改善を要する点」ということで委員会の意見をまとめたいと思います。

松浪コミュニティセンターの評価できる点につきましては、1点目「施設特性の『コミュニティカフェ』やフリースペースの有効活用、地域包括支援センターなどの複合施設と連携した事業提案があり、地域住民の交流の場となる効果が期待できる。」、2点目「まちぢから協議会の活動経験を土台として、当該地域に根ざした運営が期待され、比較的新しい施設を積極的に担う意思が感じられる。」、3点目「地域内の人材・資源の発掘が実現されており、それを活かした施策展開が可

能となっている。」。

要望する事項・期待すること・改善を要する点につきましては、1点目「津波避難ビルに指定されていることから、適切な対応を行うためのマニュアルの整備を市と連携しながら、早急に進めていただきたい。」、2点目「豊富な活動、イベントのメニューがあり、地域の人たちが楽しめる施策があるため、今後は来館者のネットワークづくりの仕組みを具体化していただきたい。」

子どもの家なみっこの評価できる点については、1点目「情報化の充実について、ホームページや二次元バーコード活用の工夫がみられ、効果が期待できる。」、2点目「ミニイベントの増加等、来館のきっかけづくりに繋がると考えられ、参加人数の充実の可能性が期待できる。」

要望する事項・期待すること・改善を要する点については、1点目「提案を求める事項について、提案以外の効果が期待できる取組の実施を期待する。」、2点目「「子どもの家」の施設運営について、スタッフ間でも意見交換を行うとともに、来館者のニーズをくみ取り、反映する取り組みを続けてほしい。」

施設全体に対する意見は、「事務局員等で小規模修繕を実施するなど、業務委託費等の経費削減に努めており、評価できる。」「施設の老朽化の問題が出始める時期であり、普段からの施設管理はしっかりと行っていただきたい。」「地域住民との協議を重ねて、設置された施設であることを踏まえ、引き続き地域の意見を反映すべく円滑な連携を期待する。」

以上、このようにまとめたいと思います。

結論としては審査したすべての指定管理者候補者については、委員としては合格点、了承したいと思います。

特に問題はないという判断をしていますということを明確にしたいと思います。

本日も長時間にわたりご審議ありがとうございました。本日の評価これで以上となります。ありがとうございます。

では事務局の方から何かありますでしょうか。

## ○千葉主査

資料の事前の確認から22日の委員会に引き続き、本日もご審議ありがとうございました。

最後に事務局より、ご審議いただきました施設の今後の予定についてご説明させていただきます。

本委員会の結果を受けまして、指定管理者の指定についての議案を3月に開催されます市議会定例会に提案いたします。

議決を経た後は指定管理者として指定され、協定書の締結を行います。

指定管理期間につきましては、令和8年4月1日から令和13年3月31日の5年間になります。

なお、本日評価結果につきましては、市長に答申を行った後、施設所管課を通じ申請団体に通

知し、必要に応じて年度ごとの事業計画等に反映いたします。

期待する事項、要望する事項、改善を要する点につきましては、対応結果について取りまとめまして、書面にて委員の皆様には後日ご報告させていただきます。

本日使用しました書類につきましては、いつも通り回収させていただきますので、机上に置いたままお帰りいただきますようお願いいたします。

また、最後に次回の委員会につきましてのご連絡事項になります。

次回、令和8年3月17日の火曜日、午後を予定しております。

主な審議事項につきましては、来年度新規開館予定の松林コミュニティセンターの選定となります。

詳細につきましては別途開催通知をお送りさせていただきますので、そちらの方のご確認をお願いいたします。事務局からは以上です。

#### ○中村委員長

委員の皆様からその他何かありますか。大丈夫ですかね。

3月の議会に上程ですので、指定管理者の制度として、議会の議決が最終的に必要になるということで、正式で議会の方の、要するに議案として送付されて承認される形になります。

ということで我々の審査はあくまで答申になりますので、逆に我々答申をして最終的な判断は、今度は市側の方で判断していただいて、議会の方にかけるというような結果になると思います。

そうしましたら、これもちまして、令和7年度第7回茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会を終了いたします。

本日はどうもありがとうございました。どうも長時間にわたりありがとうございました。